

**令和 6 年度（2024 年度）**  
**熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業**  
**交流の記録（派遣事業報告書）**



令和 7 年（2025 年）1 月  
熊本市教育委員会

## 目次

1	はじめに .....	1
2	交流事業の内容 .....	4
	団員名簿.....	4
	事業概要.....	5
	派遣日程及びプログラムの内容 .....	7
	交流の様子 .....	8
3	熊本市青少年交流団員による報告書.....	10
	N. N. (熊本商業高校 2 年) .....	12
	M. S. (必由館高校 3 年) .....	15
	R. T. (九州学院高校 2 年) .....	17
	Y. O. (真和高校 2 年) .....	19
	K. I. (東稜高校 3 年) .....	21
	R. Y. (九州学院高校 3 年) .....	24
	A. I. (一ツ葉高校 2 年) .....	27
	K. N. (開新高校 3 年) .....	31
	A. S. (熊本信愛女学院高校 2 年) .....	37
	T. M. (熊本学園大学付属高校 2 年) .....	40
	S. N. (熊本高校 3 年) .....	43
	M. I. (必由館高校 3 年) .....	46
	K. Y. (済々巒高校 2 年) .....	48
	M. S. (クラーク記念国際高校 2 年) .....	51
4	まとめ .....	54
	参考文献.....	54
	付録 1 メディア出演及び関連活動の記録.....	55
	付録 2 団員研修資料 .....	57
	付録 3 熊本市青少年交流団員アンケート (抜粋) .....	71

# 1 はじめに

近年、世界では政治・経済・文化といった様々な分野でグローバル化が進み、人間が創り上げた知識や技術、資本、商品などあらゆる事物が国を越えて流動する時代を迎えている。このような時代にあって、地球規模で物事を捉え、国籍や人種の異なる人々と協力し合い、人類の繁栄に有益な新たな価値を生み出す人材が求められており、いわゆる「グローバル人材」の育成に各国が力を注いでいる。

我が国においては2011年に産学連携によるグローバル人材育成推進会議が文部科学省に対して「産学官によるグローバル人材の育成のための戦略」を策定し報告した[1]。この報告において、グローバル人材とは「世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら、広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などを持った人間」と定義されている。すなわち、単に外国語を話し諸外国の人々とコミュニケーションを取る能力を有するだけでなく、競争と共生を通して、これまでにない新しい価値、すなわちイノベーションを創発する能力を備えた人材がグローバル人材であると示されている。

このようなグローバル人材の育成、具体的には本市の青少年に異文化に対する理解を深めてもらうとともに、広い国際的視野を身に付けた青少年の育成を図ることを目的に、熊本市教育委員会は友好都市であるドイツ・ハイデルベルク市と協力し「令和6年度

(2024年度)熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業」を実施した。1992年の友好都市盟約締結に始まって30余年間継続してきた実績ある本事業は、熊本市教育委員会と協力機関などが開発したグローバル人材育成モデルを用いて推進されている。このモデルには具体的には二つの教育プログラムで構成されている。図1に示すように、一方は国際交流すなわち「文化や言葉の壁を越えてコミュニケーションすることで互いの違いを認め合い、相互理解を深める」という機会を提供する「国際交流プログラム」であり、他方はイノベーション創発体験などの「ICTをはじめとする新たな技術やアイデアを用いてこれまでにない新たな価値観を生み出す」という機会を提供する「イノベーション創発体験プログラム」と称されている[2]。

さらに熊本市教育委員会は、近年の地域経済の疲弊に起因する財源不足や、人口減少に起因する人手不足によって交流事業が縮退することを防ぐために、熊本の未来を担うグロ

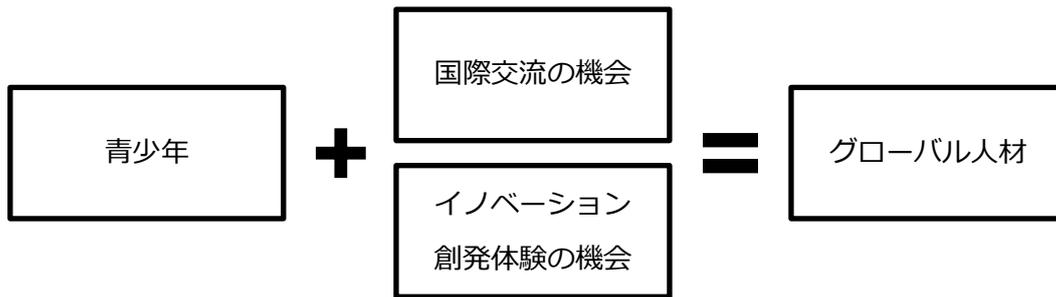


図1 グローバル人材育成モデル

ーバル人材育成というビジョンに賛同した企業や団体、教育機関などが自律的に連携することによって交流事業をサポートするプラットフォームを構築した[3]。

図2に示すのは、青少年交流事業をはじめとするグローバル人材育成に向けた活動を支援するために、ハイデルベルク市青少年団体連絡協議会など多様な団体が自律的に集結したプラットフォームである。従来の熊本市教育委員会単独で交流事業を運営するのに比べ、イノベーション創発のための理論及び教育メソッドを持つSCBラボや最先端のICT施設である崇城大学IoT・AIセンターなどと連携しアイデアや資源を低コストで提供することで交流事業のコスト性や持続性を向上させることが可能になる[4]。このプラットフォームが継続的に活動し発信することで、多様な協力機関が自律的に集結し活動に対する支援が始まった。この支援を基に関連する多様な活動が新たに始まり、グローバル人材育成の輪が広がっている。

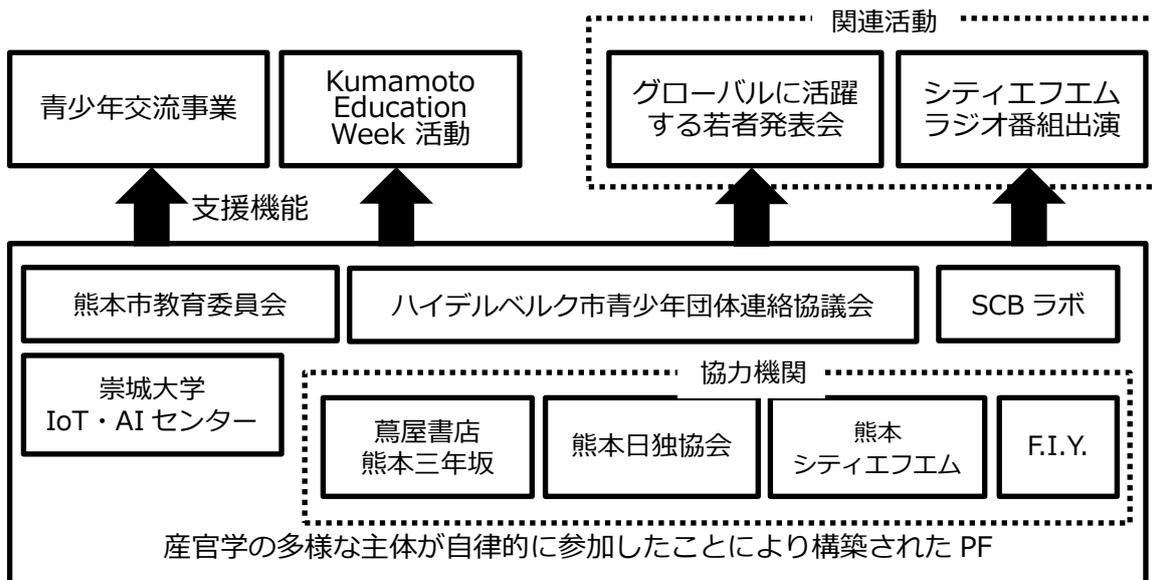
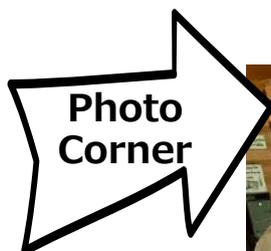


図2 グローバル人材育成支援プラットフォーム

本報告書では、2024年8月1日から8月10日までドイツ・ハイデルベルク市に派遣された熊本市青少年交流団員14名とハイデルベルク市青少年交流団員14人が、二つのプログラムに則って企画された多様な活動を通じてグローバル人材を目指して成長する過程を紹介する。熊本市教育委員会は、本報告書が交流事業の詳細な記録として本事業のさらなる発展はもとより、熊本市並びに他自治体の国際交流事業やイノベーション人材育成事業の発展に資することを期待し作成するものである。

本報告書の構成は以下のとおりである。第2章で交流事業の概要を示し、交流の内容を二つのプログラムの観点で紹介する。第3章で熊本市青少年交流団員14名が作成した今回の交流事業を通じて得た学びやグローバル人材としての成長に向けた意気込みなどを内容とする報告書を掲載する。最後に第4章でまとめる。



フィールンハイム クライミングパーク



シュニッツェル美味なり！



グッテンベルク城 ワシタカ観測所

## 2 交流事業の内容

### 団員名簿

令和6年度（2024年度）熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業に参加する熊本市青少年交流団員14名並びに訪問団役員は以下のとおりである。

#### 訪問団

役職	氏名	所属
団長	小島 雅博	熊本市教育委員会 教育次長
指導員	中野 友加里	熊本市立必由館高等学校
通訳	ヴォーニヒ マリア(WOHNIG, MARIA)	熊本市国際課
総務	前田 記央	熊本市教育委員会地域教育推進課

団員	氏名	高校（パートナー）
A. I.		一ツ葉高校2年（ティル・ヴェルナー）
K. I.		東陵高校3年（メリーナ・ハインツ）
M. I.		必由館高校3年（エリザベット・シュヴァイツァー）
Y. O.		真和高校2年（グレタ・メッツ）
M. S.		必由館高校3年（カイズー・リリッヒ）
M. S.		国際クラーク記念高校2年（エリザベット・グランデ）
A. S.		熊本信愛女学院高校2年（フレデリック・ドゥンケルマン）
R. T.		九州学院高校2年（シーラス・ドゥンケルマン）
K. N.		開新高校3年（リーナス・ヨナタン）
S. N.		熊本高校3年（エーディト・モカヌ）
N. N.		熊本商業高校2年（レベッカ・ウルマン）
T. M.		熊本学園大学付属高校2年（ルーカス・オット）
K. Y.		済々黌高校2年（エンニオ・クリューガー）
R. Y.		九州学院高校3年（エッマー・ライフケ）

## 事業概要

令和6年度(2024年度)熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業【概要】

### 1 目的

熊本市の友好都市であるドイツ連邦共和国ハイデルベルク市との友好交流の一環として、両市青少年の相互交流を実施し、交流プログラムを通して本市の青少年に異文化に対する理解を深めてもらうとともに、広い国際的視野を身に付けた青少年の育成を図ることを目的とする。

### 2 主催 熊本市教育委員会

### 3 事業概要

令和5年度(2023年度)の熊本市でのハイデルベルク市青少年交流団の受け入れに続き、熊本市青少年交流団のハイデルベルク市への派遣と、派遣に伴う事前・事後研修の実施

#### (1) 期間

令和6年(2024年)8月1日(木)～8月10日(土)(10日間)

#### (2) 派遣団員構成

○熊本市青少年交流団 18人

(内訳) 役職員 4人(団長・指導員・通訳・総務)

熊本市青少年交流団員(高校生) 14人

○ハイデルベルク市青少年交流団 17人

(内訳) 役職員 3人(団長・指導員・通訳)

青少年交流団員 14人

#### (3) ハイデルベルク市での滞在形態

団員 14人：ホームステイ

役職員 4人：ホテルステイ

#### (4) 交流プログラム内容

ハイデルベルク市作成の交流プログラムに基づく

### 4 団員資格

団員については、次の要件を満たすものとする。

原則として、令和5年度（2023年度）熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業募集要項に基づき選考した熊本市青少年交流団員により構成する。

事前・事後ミーティング等の開催

研修名	日時
第1回ミーティング	令和6年（2024年）5月26日(日) 9時～ ○結団式（午前9時～正午） ※保護者も参加 主催者・団長・役職員・団員紹介、日程およびプログラムの内容など ○団員ミーティング(13時～ ) ※団員のみ ○団員とアルムナイ（過去の交流団員）によるオンライン座談会
第2回ミーティング	令和6年（2024年）6月22日(土) 13時～16時 ○ドイツ語基礎講座「初めてのドイツ語」 ○使える英語フレーズ講座 ○フォトブックを用いたドイツ語&英語ワークショップ
第3回ミーティング	令和6年（2024年）7月6日(土) 13時～16時 ○アルムナイ後藤さんからのZoomによるメッセージ ○ドイツ留学経験者の先輩（大学生）に聴く ○大学生&マリアさんによるドイツの街角シミュレーション
第4回ミーティング	令和6年（2024年）7月20日(土) 13時～16時 ○イノベーター育成講座「訪独の価値を最大化～社会変革に向けて主張できる団員の育成」 ○動画撮影&制作ワークショップ
事後ミーティング	令和6年（2024年）8月24日(土) 13時～16時 ○研究者が教える報告書書き方指導

## 派遣日程及びプログラムの内容

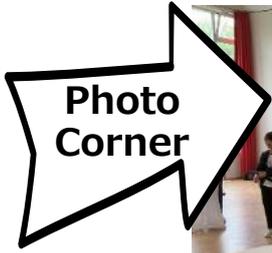
派遣日程を下記に示す。表内にふたつの交流プログラムの区別を記述する。

令和6年度 全体行程概要					
日次	月日 (曜)	時間	主な行程	交通機関	宿泊
1	8月1日 木	17:00 18:35 19:50 22:50	熊本空港 国際線航空会社カウンター前 CI 195 熊本発 台湾経由 台湾桃園国際空港乗継 CI 061 フランクフルトへ	各自 チャイナエアライン (中華航空)  (~14時間)	機内   ホストファミリー宅
2	8月2日 金	6:50 12:00	フランクフルト空港到着 ハイデルベルク到着 歓迎パーティ、ホストファミリーの紹介 終了	国際交流プログラム 専用車	
3	8月3日 土	13:30 17:00	フィールンハイム クライミング パーク交流 ウェルカム・パーティ (同スポーツ交流)	国際交流プログラム 国際交流プログラム 専用車	
4	8月4日 日	8:45 17:00	終日：ホストファミリーと過ごす日	国際交流プログラム 専用車	
5	8月5日 月	10:00 14:00 16:00	ワークショップ ハイデルベルク城観光 ハイデルベルク市レセプション	イノベーションプログラム 国際交流プログラム 国際交流プログラム 専用車	
6	8月6日 火	9:00	フランス旅行 (EU議会、ストラスブール等)	国際交流プログラム 専用車	
7	8月7日 水	10:00 14:00	グーテンベルク城 ワシタカ観測所 エクスペリメンタ・サイエンスセンター	国際交流プログラム イノベーションプログラム 専用車	
8	8月8日 木	10:00 18:30	ホリデーパーク 太陽光発電船でのさよならパーティー	国際交流プログラム 国際交流プログラム 専用車	
9	8月9日 金	7:15 11:20	フランクフルト空港へ フランクフルト空港発	貸切バス	機内泊
10	8月10日 土	6:10 8:45 9:40 12:30 14:40 18:05 20:55	CI 128 台北桃園空港着 忠烈祠衛兵交代式見学 (08:45~09:30) 故宮博物院 (09:40~11:40) 台北桃園空港着 台湾桃園国際空港発 福岡空港発 熊本帰着 (国際交流会館前)	チャイナエアライン (中華航空) 貸切バス 国際交流プログラム 貸切バス	

### 所要時間

熊本	18:35	⇒	台北	19:50	02時間15分
台北	22:50	⇒	フランクフルト	06:50	14時間00分
フランクフルト	11:20	⇒	台北	06:10	12時間50分
台北	14:40	⇒	福岡	18:05	02時間25分

# 交流の様子



ホストファミリーの紹介とパートナーとの再会



フィールンハイム クライミングパーク



イノベーション・タンク (未来ラボ) で  
コーディング・ワークショップ



ハイデルベルク城の観光ツアー



ハイデルベルク市レセプション



↑  
ドイツ語での  
スピーチ動画は  
こちらから



Photo  
Corner



フランス EU 議会訪問



ミリスさん  
かわいい〜



グッテンベルク城 ワシタカ観測所



極楽!



台湾にて



無事に熊本帰着



ただいま!

### 3 熊本市青少年交流団員による報告書

本章では、14名の熊本市青少年交流団員が交流の感想やグローバル人材として将来新たな価値観を生み出すための考えをまとめた報告書を掲載する。ホストファミリーへのインタビュー調査を通じて自らの仮説立証を試みた報告や、音楽を通じて異文化理解を進める提案のほか、ハイデルベルクの市場で売られている商品や地域のゴミ箱の設置状況の調査を通じて日本におけるSDGsの取り組みに一石を投じようとする報告がある。さらにハイデルベルクでの生活やEU本部視察での体験を通じて自らの将来設計を始めた報告のほか、日本とドイツの教育制度の違いに着目し、より良い社会やシステム構築に向けて提言するものもある。

期待以上にユニークな視点で書かれた報告書が集まり、グローバル人材として成長し、将来日本を変革する可能性を十分に感じさせてくれていることから、これまでにない新たな価値観を有するグローバル人材・イノベーション人材育成を目的とする本事業の趣旨が十分に反映されたものといえる。以下に各団員の報告書を掲載する。

#### 報告書テーマ1：多様な興味関心（色彩、相撲、音楽）

- (1) グローバル化と色彩の知識 / N. N. (熊本商業高校2年)
- (2) 相撲を通して築く繋がり / M. S. (必由館高校3年)
- (3) 音楽を通じた良好な人間関係の構築 / R. T. (九州学院高校2年)
- (4) 音楽を通じて感じた人との繋がり / Y. O. (真和高校2年)

#### 報告書テーマ2：SDGsの推進

- (1) Bioを日本に普及 / K. I. (東稜高校3年)
- (2) 建物から知る日独間のSDGs事情 / R. Y. (九州学院高校3年)
- (3) ハイデルベルク市に学ぶ街中のゴミ箱設置とポイ捨て抑制：熊本市への課題対策の提案 / A. I. (一ツ葉高校2年)
- (4) ゴミ箱設置で熊本市をより良い街に / K. N. (開新高校2年)

#### 報告書テーマ3：異文化理解

- (1) 個の尊重と他者配慮 / A. S. (熊本信愛女学院高校2年)
- (2) 文学から、「今」、異文化交流を推進するべき理由 / T. M. (熊本学園大学付属高校2年)

- (3) 「雲外蒼天」な日々と将来への決意 / S. N. (熊本高校 3年)
- (4) ステレオタイプを超えて～国際交流がもたらす真の理解～ / M. I. (必由館高校 3年)

**報告書テーマ4：教育制度の比較**

- (1) 日本とドイツの教育の違いについて / K. Y. (済々黌高校 2年)
- (2) 知識を広げ視野を広げた 10日間 / M. S. (クラーク記念国際高校 2年)



フライト～フランクフルト空港到着



イノベーション・タンク（未来ラボ）でコーディング・ワークショップ

# グローバル化と色彩の知識

N. N. (熊本商業高校 2 年)

## 1 はじめに

今年も昨年に引き続きドイツ・ハイデルベルク市青少年交流事業に参加することが決まった。昨年は、遠く離れたハイデルベルクの人々と共通点を見つけ出し、そこから友情を深める経験をする事ができた。その経験から、今回は反対に相違点を見つけ、その背景を感じることを交流の目的にしようと考えた。

## 2 色彩の重要性

私にとって初めての海外でもあったハイデルベルクという街の景色は美しかった。景色を見ながら、ふと「日常的にみる景色が違くと色彩に対する個人のイメージが違わないか」と気になった。

この疑問が大切であることを 3 つのステップで説明する。

- ①今、世の中で急速にグローバル化が進んでいる。
- ②ある企業は A 商品を世界中で売りたい。
- ③商品パッケージのデザインの影響で X 国ではたくさん売れるが Y 国では売れ行きが伸びないということが起きる。

このようなマーケティングの例によらず、グローバル化に対応するためにも色彩について知識を得ることは重要だ。たしかに色彩のイメージというものは個人の経験からくるものであって国ごとに変わるものではないのかもしれない。しかし個人は集団の中で育っている。多少なりとも色彩感覚はその国の文化や歴史に関わりがあるはずだ。

## 3 先行研究の調査

先行研究を調査したところ、安田女子大学の宮川博恵によるとパッケージの印象評価には、明度とトーン・色相・地色とアクセント色のバランス・光沢感のある色などが影響を与えているという[1]。この研究の対象者の国籍は明かされていない。そこで国ごとの色の印象を反映させたいと思うにいたった。

さらに、早稲田大学の齋藤美穂による色彩についての研究では、色の嗜好を各国で比較

したとき地域や時代を超えて共通する色の好みが存在する一方、それぞれの文化がもつ固有の好みがあることが明らかにされている[2]。これらの先行研究から色彩と文化的背景に関係があることがわかってきた。それではドイツ人と日本人ではどのような色彩感覚に差異があるのか、この点に関心を持った私は、実際に私の家族とホストファミリーに協力してもらい調査した。

#### 4 色彩感覚の違い

この交流期間は決して長いものではなく十分な時間をとって話せたのはホストファミリーだった。そのためドイツではホストマザーと私のパートナー、同年代にするため日本では私の母と妹を対象とする少人数での調査とした。調査の方法は赤・ピンク・水色・青・紫・オレンジ・緑・黄緑の九色から連想されるものをそれぞれ聞くアンケート方式にした。口で伝えると頭で想像する色がずれてしまうだろうと思い市販されている一般的な折り紙を見せながらアンケートをとった。

結果として似たイメージを持った色は青・緑だった。青では「海」や「空」、緑では「木」が連想された。自然界で特に見つけやすい色であるため同じなのだろうと思った。

次に、大きなずれではないが違ったのは水色だ。日本語では名前に「水」と付けられているため「水」を連想したがドイツでは「空」という回答だった。しかし先ほど引用した齋藤美穂の調査の通り、青・水色はドイツ人のホストファミリーや私の家族にも共通して好まれやすい色であった。

私が特に興味深いと感じた色はピンクだ。ドイツでは「愛」や「若い少女の思い」との回答が得られたのに対して、日本では「かわいい」という言葉が聞かれた。私は以前「kawaii」という言葉は英語の「cute」またその他の言語とは意味が一味違い海外でも通じるようになってきているという話を聞いたことがある。「かわいい」は日本の特別な感情でありその象徴がピンクなのだろう。



美しいハイデルベルクの景色から私が連想した色は・・・

## 5 まとめ

今回は対象とした人数が少なく、信頼性に欠けるが、調査を通して仮説のとおり色のイメージはその国の文化に関わりがあることが推測できた。

色彩というものは普段気にしないものの、常に生活と隣り合わせのものだ。人間は約100万色を識別すると言われている[3]。色彩のイメージを理解し、巧みに利用することはグローバル化していく未来においてさらに重要視されていくだろう。しかし売り出した国の文化に合わせるだけでなく、日本を全面に売り出すのか、それとも特定の地域の人々に親しんでもらうのかという商品の開発目的にあった色彩を選ぶことが重要だろう。

最後に、インターネットが発達した社会に生きる私たちは、様々な知識に簡単に触れることができるが、今回の調査のように関心を持った事物に主体的に取り組んでいくことで本当の学びが得られると私は考える。これからも主体的な学びに励んでいきたい。

### 参考文献

- [1] 宮川博恵, パッケージの印象評価に与える配色の影響, 安田女子大学紀要, Vol.41, pp.343-352, 2013, <https://core.ac.uk/download/pdf/229552701.pdf>, 2024/09/29 閲覧.
- [2] 齋藤美穂, 色と文化と心—色彩嗜好の国際比較から, 機関誌『水の文化』55号, ミツカン水の文化センター, 2016, <https://www.mizu.gr.jp/kikanshi/no55/04.html>, 2024/09/29 閲覧.
- [3] 河村正二, 色覚多様性の意味について, FBNews, No. 536, 2021, [https://www.c-technol.co.jp/cms/wp-content/uploads/2021/08/FBN536\\_202108web.pdf](https://www.c-technol.co.jp/cms/wp-content/uploads/2021/08/FBN536_202108web.pdf), 2024/09/29 閲覧.

## 相撲を通して築く繋がり

M. S. (必由館高校3年)

### 1 はじめに

私はこのドイツ研修に参加し、ホームステイを通じて「違いを越えて共通点に焦点を当てる」ことの重要性を感じました。私が「異文化」として捉えていたものは、実際には私が持っていた偏見や先入観のフィルターに過ぎず、文化の違いがあると思い込んでいたのは、私自身の意識の中にあるただの境界線でした。要するに、「異文化」を強調する必要はなく、むしろ違いを越えて共通点に焦点を当てるのが大切だと気づきました。



ホストファミリーと私（左から2人目）

### 2 共通点に着目

現代のグローバル社会では、異文化理解が重要視されています。しかし、異文化を強調しすぎることで、相手との距離が生まれることがあると思います。ドイツでのホームステイで習慣や文化的な違いは確かに存在しましたが、それが壁になることはなく、むしろ家族の一員として共通の趣味や楽しみを見つけることができました。私の中で異文化理解とは違いを理解するものではなく、共通点に目を向けることだと感じるようになり、これを他の人々にも体験してもらいたいと思いました。



パートナーと私（右）

### 3 相撲＝国際・世代を超えた共通点

私は、外国人との交流だけでなく、世代間交流も自らの視野を広げたり、新たな価値観に出会えるので促進したいと思い、相撲を活用したアイデアを考えました。

相撲は 1500 年以上の歴史を持ち、世代を越え国境を越え多くの人に愛され続けています。相撲は日本の伝統文化でありながら、現代においても世界的な人気を誇るスポーツです。異文化交流においても、伝統的な要素を持ちながら現代的な価値観を共有できる相撲は、過去と現在をつなぎ、異なる世代、異なる文化圏の人々を結びつける力を持っていると思います。

#### 4 大相撲メタバーズ場所を提案

実際に相撲を観戦するのもいいですが、相撲のルールがシンプルで子供から大人まで競技に参加できるという点をふまえ、崇城大学 IoT・AI センターのメタ空間スタジオ[1]で大相撲メタバーズ場所を開催したいと思います。仮想空間だからこそ、実際に東京まで行かなくても相撲を体験することができます。最先端の ICT 技術を使えば香りや風、水しぶきなどが体感可能です[2]。大銀杏の香り、スクリーンに映る 200kg の力士の迫力、その激突から生まれる空気の動きや汗の飛沫など、身体的な体験を通してこそ理解できるものがあります。ゆくゆくは、そんな体験ができるスタジオをドイツにも作れると私は信じています。

様々な側面を持ち、国籍、年齢を問わず愛されるスポーツが他にあるでしょうか。私はこの唯一無二の相撲が世代、国籍を越え人々を繋ぐことを信じています。



散歩の風景

#### 参考文献

- [1] 崇城大学 IoT・AI センター, <https://www.cis.sojo-u.ac.jp/index.php/iot-ai-center.html>, 2024/09/30 閲覧
- [2] ITmedia News, 水と風, 揺れるシート, ヒロインの香り——体感型「4D シアター」のすすめ, <https://www.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/1705/02/news085.html>, 2017, 2024/09/30 閲覧

# 音楽を通じた良好な人間関係の構築

R. T. (九州学院高校 2 年)

## 1 はじめに

「音楽」と聞いてどのようなイメージを持つだろうか。私は実際にドイツへ行って音楽に対するイメージが 180 度変わったと断言できる。そして音楽は人間関係構築に役立つのではないかと考える。

## 2 音楽の新たな位置づけ

私はホストファミリーの家でピアノのsmallコンサートを行った。最初は自分だけが演奏するのだと思っていた。それは私が音楽に対して「自分のためにするもの」「世界共通である」というイメージしか持っていなかったからだ。しかし、いざ始まってみるとその場にいた人たちが気軽にピアノを弾き始めたのだ。この空間はたくさんの人の笑顔が溢れ、今まで音楽から感じたことのない幸福感を感じた。

この出来事をきっかけに、12 年間ピアノとともに生きてきた私の音楽に対するイメージは「人とのつながり・絆をより強めるもの」「人々を幸せにする 1 つの言語ツール」というものへと変化した。スマホを片手に全ての問題を解決できる世の中で、実際に対面での繋がり構築の場が減少している。クラシックもその 1 つで専門分野の人が行うものというイメージが定着している。スマホでは見えないその人の人柄や共通点を実際に会うことで見つけることができる。現代ではクラシック音楽は専門のものという堅苦しいイメージに囚われていて身近ではない。そこで私はもっと音楽を受け入れ取り入れていくべきだと考える。



ホストファミリーらとの語らい

### 3 音楽と言語による相互理解の醸成

音楽を「人とのつながり・絆をより強めるもの」「人々を幸せにする1つの言語ツール」として捉えることにより、私が創発した方策は音楽を取り入れたマッチングイベントだ。

前述の問題提起よりスマホでは相手のことを深く知ることはできず、相互に誤解が生じることで、ときに犯罪に発展してしまうケースもある。実際に会って音楽を交えて、交流することで共通点を見つけたり親密度を深めたりすることができる。生の音楽と触れ合い、実際に人と繋がるとコミュニティが広がり同じ分野で活躍する同志を見つけることもできる。会話と音楽を取り入れたこのイベントを通して良好な人間関係構築を促進すると共に音楽をより身近なものにできると考える。

このことの証左として、今回のドイツでの経験から音楽は言葉なしに幸せな気持ちを周りの人と共有することができると私は実感できた。そのため、会話をすることが苦手な人でも音楽という便利なコミュニケーションツールを活用し他人と繋がることができると考えている。

### 4 むすび

今回実際にドイツへ行ったことで大好きな音楽に対する考え方を見直し音楽の持つたくさんの魅力に気づくことができた。これから国際化が進んでいく社会の中で、人との繋がりは必要不可欠である。そのため音楽という言語の壁のない最高のツールを使って人間関係を構築していくべきだと思う。目の前の人はもちろん世界とも繋がっていくことができる音楽社会を私自身、今後の未来人材として展開していきたい。



ピアノで「私」を伝える

# 音楽を通じて感じた人との繋がり

Y. O. (真和高校 2 年)

## 1 はじめに

私は昨年度、話しかけられてのリアクションが多かったことから今年度はより積極的に自分の好きなことや感じたことなどを表現することを目標とした。自ら勇気を出して表現することの大切さ、そこから得られる人との繋がりなど、これからの人生において重要なことに気づくことが出来た。

## 2 自己表現と人との繋がり

### (1) アイデンティティ

まず、パートナーやパートナーの家族にもっと私を知ってもらうために何かできないかと考えていた。そこで、私は3歳の頃から習っているヴァイオリンを披露することを思いついた。ヴァイオリンは私にとってただの趣味でなく、大きなアイデンティティの1つであり、誇りを持っているものでもある。私は船の上でのフェアウェルパーティーで演奏する機会を用意していただき、それに向けて練習を始めた。言葉を超え、音楽を通じて分かち合えることは実際にできるのか、ドイツへ訪れる前から高揚感があった。

### (2) 特別な体験

実際にパートナーの家族と会い、そこで初めてホストファザーがフルート奏者だと知った。ある日、リビングでパートナーにヴァイオリンを見せているとホストファザーが「一緒に演奏しよう」と誘ってくれた。ホストマザー、ホストブラザーもリビングに集まってくれて、最初は緊張した。しかし、簡単な曲を初見で一緒に演奏してみると、すぐに楽しい雰囲気になった。音を合わせていくうちに自然と笑顔が増え、心が通じ合うのを感じた。言葉では伝えきれない感情が音楽で共有できた気がして、とても嬉しかった。それと同時に、音楽は言葉を超えて人と人を繋げてくれるということを体感することができて感動した。

### (3) 音楽が広げた繋がり

フェアウェルパーティーでは日本人とパートナー、家族全員が集まっており、そこで私はヴァイオリンを演奏した。後から知ったが、私が演奏している時にホストファザーが1番嬉しそうだったと聞き、演奏して良かったと感じた。また、フェアウェルパーティーで

は新たな繋がりもあった。別のパートナーのホストファザーがピアニストで、音楽についてたくさん話したのだ。音楽への思いや経験を聞かせて貰ったり、自身の音楽への情熱も伝え合ったりして充実した時間を過ごせた。最後に、彼が自身の演奏を収録したサイン入りのCDをプレゼントしてくれたとき、そのプレゼントが交流の証のように思えて、とても感動した。また、それは音楽が新しい繋がりを作り、交流を深める架け橋になることを意味すると思った。

### 3 まとめ

音楽は、ただの音やメロディーではなく、感情や思いを共有する手段であると感じた。そして、言葉や文化の違いを越えて人と人を繋げ、私の国際交流の経験をより豊かにしてくれた。この経験は私の人生の中で特別な宝物だ。音楽に限らず積極的に自己表現をすることも人との繋がりが増えると思う。これからも受け身のコミュニケーションではなく、積極的に自己表現をして繋がりを大切にしたい。



ホストファザーとの演奏



ホストファミリーとともに

## Bio を日本に普及

### K. I. (東稜高校3年)

#### 1 はじめに

私が Bio について興味を持ったのはハイデルベルクを訪れたことがきっかけである。ハイデルベルクではスーパーマーケットや食品店に行くと、販売されている大体の食品またはケア用品に Bio 表記がされており、ホストファミリーの家にも多くの Bio 商品が存在したため滞在中に使用することもあった。日本でも「バイオ」や「オーガニック」という言葉を耳にすることはあったがハイデルベルクほど日常に浸透していなかったため、ドイツでの浸透度に驚いた。

Bio について調べていくうちに日本へもたらす利点や可能性に気づき、Bio を日本に浸透させたいと思うようになった。私が主として日本への普及を促進させたいと思っている Bio は、農業 Bio と食品 Bio の二種類である。

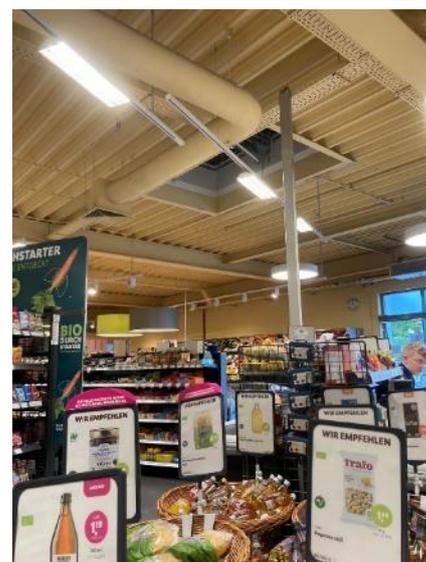
#### 2 Bio とは

ここで、Bio について説明する。Bio という単語は「有機的な」を意味するドイツ語で、英語の Organic に相当する言葉でもある。ハイデルベルクで私が目にした Bio 表示は、オーガニック認証の統一規格「Bio-Siegel(バイオシーゲル)」というもので、ドイツ政府に認定されている。また、ヨーロッパ圏では上記の Bio-Siegel 以外にも複数の Bio 表記が存在し、農産物や食品、化粧品、医薬品など多くの由来製品が Bio 製品として扱われている。

一方で、日本においては、政府などの公式な組織から認定されている Bio 表記では農林水産省が定めた「有機 JAS マーク」があり、認証対象は有機農産物、有機畜産物、有機加工食品、有機飼料、有機藻類の五つと定められている。日本ではこの「有機 JAS マーク」が無いと有機表示をしてはならないこととされてい



ハイデルベルクの Bio コーナー①



ハイデルベルクの Bio コーナー②

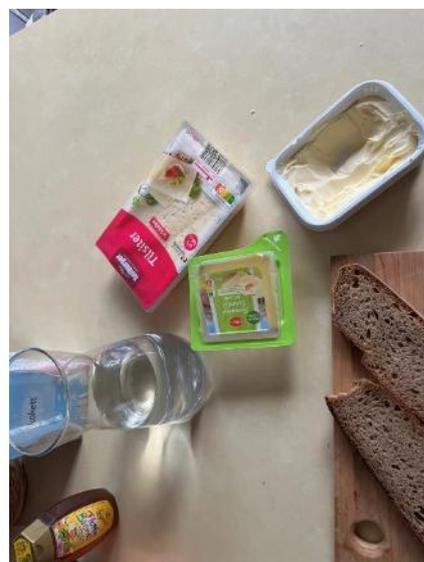
る。私の印象では、ハイデルベルクやヨーロッパ圏で Bio が普及している一方で、日本では日常的と言えるほど浸透していないように感じる。

### 3 利点・欠点

日本に Bio 商品を広める大きな利点として Bio が地球環境に優しいという点が挙げられる。有機農業は持続可能な農業とも呼ばれている。農薬を使わないことが日本の Bio 規定として存在するために石油由来の化学肥料が使われておらず、その結果化学肥料の生産過程における温室効果ガスをゼロにすることができるということ、そして環境汚染や生態系の破壊に繋がる農薬を使わないため通常の農業より地球環境に優しいことから、地球温暖化の緩和や環境の保全に繋がっている。

また、残留農薬を危惧する人でも日本の厳しい規約に合格した正規 Bio 食品なら安心して口にすることができる。

審査が厳しく基準を満たすために費用がかかりすぎるという欠点があるが、裏を返せば農林水産省が出している審査の基準を全てクリアし認定を受ければ折り紙付きの Bio 製品となり、誰でも安心して使用することができる。



ハイデルベルクの Bio 製品

### 4 Bio 浸透への道筋

先に述べた利点・欠点を鑑みた上でどのように実行に移すのか、三つの案を考えた。

#### (1) 日本有機農家の連結

日本の農家の連携が必要不可欠だと考える。有機農家のコミュニティを作り、実態的で視覚的な繋がりをつくることで有機という界限を活性化させるような効果を生みたい。実際に「オーガニック給食マップ」という組織が世界と日本を対象に賛同団体・個人とともに学校給食をオーガニックにすることを目的に活動している。

#### (2) 地域ブランド化 with 学生

地域の農業高校や有機や農業に関心を持つ学生に向けて、有機について学ぶ講座を設けたり、店舗用のポップをつくったり料理教室や実際に農作物を育てるといった活動を展開する。学生ならではの発想や柔軟で新鮮な考えに期待し、話題性のあるブランド化を目指

したい。

### (3) レギュラー化

私は Bio が日本へ普及していないひとつの要因として、積極的に支持する層がないためだと考える。日本でも、オーガニック商品を集めたお店だったりコーナーだったりを見かけることがあるが、非オーガニック商品と比べても価格が高かったり、種類や量が少なかったりするため購入の第一選択肢となることは難しい。政府が非オーガニック商品に追加税をかけたり、スーパーマーケットなどの小売業界でもオーガニック商品を日常的に購入する顧客に優先的にレジの順番や駐車場が割り当てたりするなど、日常的な（レギュラー化）オーガニック商品の購入キャンペーンを推進し、Bio（オーガニック）を積極的に支持するコミュニティを形成したい。

## 5 展望

多くの人に Bio の良さを知ってもらい、現在より更に Bio が普及することで、環境にとっても我々人間にとっても好影響をもたらすことを期待する。

### 参考文献

- [1] 経済産業省, バイオ製品の普及に向けた取り組み, [https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/shomu\\_ryutsu/bio/pdf/011\\_10\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/shomu_ryutsu/bio/pdf/011_10_00.pdf), 2024/09/29 閲覧
- [2] ORGANIC PRESS, BIO SIEGEL - オーガニック認証マーク【ドイツ】, <https://organic-press.com/dictionary/germany-organic/>, 2024/09/29 閲覧
- [3] だいでず DAYS, 有機 JAS マーク, <https://daizu-days.com/dic/dd-vol17/>, 2024/09/29 閲覧
- [4] ELEMINEST, 有機 JAS マークとは, <https://eleminest.com/article/1754>, 2024/09/29 閲覧
- [5] コープ自然派事業連合, 来たれ！有機農業を志す方！, [https://www.shizenha.net/japan\\_organic/organicfarmingtraining/](https://www.shizenha.net/japan_organic/organicfarmingtraining/), 2024/09/29 閲覧
- [6] オーガニック給食マップ, <https://organic-lunch-map.studio.site/>, 2024/09/29 閲覧
- [7] 朝日新聞, 分校の高校生と一緒に有機農業 山添村で実践講座, 今月本格スタート, <https://www.asahi.com/articles/ASS663RRXS66POMB001M.html>, 2024/09/29 閲覧

## 建物から知る日独間のSDGs事情

R. Y. (九州学院高校3年)

### 1 はじめに

今回のドイツ訪問では昨年の受入れ時と比べて、より一層他国での異文化理解やコミュニケーションの重要性を再確認することができた。その中でも私が昨年から興味を持って調べてきた「SDGs」というテーマで、ドイツと日本の違いや将来に向けての対策を考えた。

### 2 日本のSDGs対策の現状

昨年からの調査で日本よりもドイツの方がSDGsの達成度が高いと理解していた[1]。しかし実際にドイツでの滞在を通してみると、普段私たちが行なっているゴミの分別やペットボトルなどのプラごみのリサイクルはドイツでは積極的に取り入れられていないと感じた。実際にドイツのペットボトルのリサイクル率は日本よりもはるかに下回っている[2]。

SDGsの推進において指標とされることが多いゴミのリサイクルではあまりドイツは振るわない。では、日本とドイツの違いは何なのか。ドイツ滞在を通じて私が注目したのは住環境とエネルギーの問題である。近年の日本は人口の増減に起因して空き家が増えたり、土地開発などで多くの自然が失われてきた。加えて、日本の大きな問題として電力供給問題が挙げられる。

### 3 ドイツを参考にした日本の課題解決

回答として色々存在するだろうが、その中の一つとして住宅形態の違いが挙げられる。私が最初に思い出されるドイツの光景は、高層マンションではなくとも4~5階程度の古い建物が所狭しと並んでいる光景である。エッマー（私の交流事業パートナー）によるとそれらの建物は、マンションとして使われているようだ。実際にドイツの住宅形態は先進国では珍しく、賃貸の割合が持ち家の割合よりも上回っているデータがある[3]。



ホームステイ先から見た路面電車の軌道とマンション群

そこで、個人がそれぞれ家を所有するよりマンションが多く存在すれば、空き家や土地の減少問題解決にもつながり、マンション内での新しいコミュニティも誕生し、小規模なコミュニティの中でエネルギー面で自立した地域作りも実施しやすくなるのではないだろうか。実際にドイツではバーンシュタットというエコ再開発地区を推進しており、そこでは電力や熱は全て再生可能エネルギーで供給されている[4]。住民にとっても、環境にとっても、これだけ住み続けられる街・環境づくりが整っていることは世界でみても数少ない。



5階建てのマンション

#### 4 まとめ

日本がなぜ先進国の中で電力を中心にSDGs達成度が低いのかという国土面積と気候の違いが挙げられる。言うまでもなく日本の国土は人が住みづらい山地が多い。そしてドイツは8月はじめにも関わらず、日本の秋の気候に入った様な気温・湿度で凄く過ごしやすい気候だった。寧ろ朝・夜はもちろんのこと、雨が降れば一日中肌寒くなるほどだ。あの気候であれば、確かにエアコンなどと言う機械とは無縁の生活が送れそう。しかし私たちが日本で生活する以上、他国との違いを知るだけでなくそれを自国に置き換えて自分たちができる範囲で実行する必要がある。その点で言うと、日本のリサイクル率は企業や私たちが日々意識的にする行動の結果だと考える。しかし伸び代を見出すべき所は電力問題である。平地が少ない日本で、人が長く・エコに生活するにはドイツのマンションを通したエコ再開発地区の模倣が必要だと私は考える。今回の派遣だけでは調査不足な点も勿論あるが、自分なりに電力問題に関して考え、結果がまとまって良かったし、今回学んだことも学んだ過程も将来に向けての一步としてこれからも大事にしていきたい。



パートナー（右）と私

#### 参考文献

- [1] Sustainable Development Report, Rankings - The overall performance of all 193 UN Member States, <https://dashboards.sdgindex.org/rankings>, 2024/09/30 閲覧
- [2] 副業社労士まさゆき, ドイツから日本を見る①PET ボトルリサイクル②農家経営規模の違い③トラック運転手不足【ドイツ旅行記】, <https://note.com/sharosimasayuki/n/n5cf2dd4911ed>, 2024, 2023/10/09 閲覧.
- [3] 建装工業, KENSO Magazine どうなってるの? 世界のマンション事情 ~ドイツ編~, <https://www.kenso.co.jp/magazine/article/20231212a.html>, 2024/09/30 閲覧
- [4] 松田雅央, ハイデルベルク市の環境市街区開発「バーンシュタットプロジェクト」, 日本不動産学会誌, Vol.26, No.3, pp.85-92, 2012, [https://www.jstage.jst.go.jp/article/jares/26/3/26\\_85/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jares/26/3/26_85/_article/-char/ja/), 2023/10/09 閲覧

# ハイデルベルク市に学ぶ街中のゴミ箱設置と ポイ捨て抑制：熊本市への課題対策の提案

## A. I. （一ツ葉高校 2 年）

### 1 目的

本報告書は、ドイツ・ハイデルベルク市における街中のゴミ箱設置とそのポイ捨て抑制効果に着目し、熊本市で同様の取り組みを導入することによる利点と課題を考察します。さらに、ゴミ箱の設置に伴うデメリットとその対策についても提案し、熊本市民の清掃意識向上と熊本市街地の美化に役立つ具体策を提示します。

### 2 背景

多くの都市と同様に、熊本市でも特に繁華街や観光地でポイ捨てが問題視されています。街中にゴミ箱が少ないため、ゴミの放置が目立つケースも多く、環境美化の妨げとなっています。一方、図 1 に示すようにハイデルベルク市ではゴミ箱が数多く設置され、市



図 1 ハイデルベルク市内に設置されたゴミ箱（画像内赤丸+矢印部分）

民や観光客が簡単にゴミを捨てられる環境を整備していることでポイ捨てが大幅に抑制されているように見受けられます。こうした施策は、熊本市にとっても参考となるものです。

### 3 問題提起

熊本市では、駅や一部の公共施設にしかゴミ箱が設置されておらず、街中にはほとんど存在しないように見受けられます。その結果、観光客や住民がゴミを捨てる場所を見つけられず、ポイ捨ての原因となっていると思われます。しかし、ゴミ箱の設置を増やすことは、ゴミの回収作業が増えることによるコストや、テロの発生リスク、家庭ゴミの不正持ち込みといったデメリットにもつながることから十分に考慮する必要があります。

### 4 熊本市のゴミ箱設置数増加に向けた3つの観点

ハイデルベルク市に倣い、熊本市もゴミ箱の設置数を増やすことで、街の景観を守りつつ、清潔な環境を作り出すことが可能だと考えます。

そこで、私は下記の3つの観点でゴミ箱の設置の拡充を提案します。

- (1) 回収コストの低減：ハイデルベルク市の成功事例を参考に、熊本市でも観光地や繁華街にゴミ箱を増設し、スマートゴミ箱の導入や分散配置による効率化を図ります。
- (2) 安全対策の強化：透明ゴミ箱や監視カメラの設置、警備の強化を通じて、テロの発生リスクを最小限に抑えます。
- (3) 不正投棄対策の強化：分別の徹底や罰則の導入を進め、家庭ゴミの不正持ち込みを防ぎます。

### 5 具体的な提案手法

#### (1) 回収コストの低減

ゴミ箱が増えると、回収作業の負担が増大し、作業コストや人員の増加が求められます。特に観光地では、ゴミ箱が頻繁に満杯になり、対応が必要です。

対策として下記の具体策を提案します。

- ・スマートゴミ箱の導入：満杯状態を自動で検知するセンサー付きのスマートゴミ箱を設置し、効率的な回収を実現します。これにより、不要な回収作業を削減し、コストの削

減が期待できます。

- ・ゴミ箱の分散配置：人が集まる特定のエリアだけでなく、熊本市全域にわたって分散して設置することで、回収負担を分散し、効率的な運用が可能となります。

## **(2) 安全対策の強化**

ゴミ箱の設置が増えると、テロリストが爆発物等を隠す場所として利用するリスクが高まります。特に大規模なイベントや観光地では、このリスクが懸念されます。

取りうる対策として下記の具体策を提案します。

- ・透明ゴミ箱の導入：テロ対策として、透明なゴミ箱を設置することで、ゴミ箱内部が見えるようにし、不審物が隠されにくくなります。
- ・警備の強化：観光地や人が多く集まる場所では、監視カメラや警備の強化が必要です。ゴミ箱の周辺に監視カメラを設置することで、不審な行動を監視し、早期発見が可能になります。

## **(3) 不正投棄対策の強化**

家庭ゴミや業務ゴミを公共のゴミ箱に不正に捨てる問題が発生する可能性があります。これにより、ゴミ箱の容量がすぐに満杯になり、回収作業がさらに増えるリスクがあります。

上記の点を勘案して下記の具体策を提案します。

- ・分別と監視の強化：ゴミ箱に明確な分別ルールを示し、不正な投棄行為が発見された場合は罰金を科すなどの措置を取ります[1]。※実際にシンガポールではポイ捨て初犯 1,000 シンガポールドル（約 8 万円）、再犯 2,000 シンガポールドル+清掃活動というように、ポイ捨てに罰金刑を課しています。また、ゴミ箱の周辺に監視カメラを設置し、違反行為を抑制します。
- ・家庭ゴミの回収制度改善：家庭ゴミの回収頻度を増やし、住民が簡単にゴミを捨てられる仕組みを整えることで、不正持ち込みを減らすことができます。

## **6 効果**

これらの対策を講じることで、熊本市におけるポイ捨ての減少が期待されます。さらに、ゴミ箱の効率的な回収や安全対策を通じて、街の美観が保たれ、市民や観光客が快適に過ごせる環境が整います。長期的には、市民の環境保全意識が向上し、持続可能な都市環境が実現可能だと考えます。

## 7 結論

ハイデルベルク市のゴミ箱設置によるポイ捨て抑制の成功事例は、熊本市にとっても大いに参考になるものです。しかし、ゴミ箱の設置に伴うデメリット（回収負担、テロリスク、不正持ち込み）も無視できません。これらの課題に対処しながら、ゴミ箱設置を進めることで、熊本市がさらに美しく、清潔で安全な街を実現できると考えられます。

### 参考文献

- [1] シンガポール観光.com, タバコ・ゴミ・ポイ捨てなどの罰金一覧,  
<https://ryokoukankou.com/singapore/basic-penalty.html>, 2024/9/15 閲覧

## ゴミ箱設置で熊本市をより良い街に

K. N. (開新高校3年)



1

### 概要

私は2024年8月1日から10日まで、熊本市教育委員会地域教育推進課がおこなっているプロジェクトに参加し、ドイツ・ハイデルベルク市を訪れた。

このプロジェクトは2023年・2024年の2年間にわたるもので、2023年は私達がドイツ人パートナーを受け入れた。

私達、熊本市交流団員として選ばれた14名の目的は、交流で得た知識を熊本市の未来のために役立てることだ。

そこで私が思いついたのがゴミ箱の設置だ。



2

## この考えに至るまでの経緯

私がハイデルベルク市を訪れて一番驚いたのは、街のいたるところにゴミ箱が設置してある事だった。

熊本市の街ではゴミ箱が設置されている場所が少ない。そのため私も不便な思いをしたことがある。

私はこの点はドイツをまねする必要があると思った。



3

モデル  
(あるべき姿)

ゴミ箱があれば快適に買い物を楽しめるね

日本ってゴミ箱が少なくて不便だよ

街

4

## メリット

1 ゴミの適切な処理が促進される

1】人々がゴミ箱を利用しやすくなることで、ゴミを適切に捨てる習慣が広まり、不法投棄やポイ捨てが減少する。これにより街が清潔に保たれる。

2 衛生環境の向上

2】ゴミが散乱しないことで、害虫や動物が集まりにくくなり、衛生的な環境が保たれる。

3 社会的な責任感の向上

3】ゴミ箱が街中に設置されることで、市民や訪問者がより積極的にゴミを正しく処理するようになり、社会的な責任感やエコ意識が向上する。これは、住民の意識啓発にもつながる。

4 観光客や利用者の利便性向上

4】ゴミ箱の設置が観光客や利用者にとって利便性につながり、ゴミを持ち帰る必要がなくなることで、観光や買い物をより快適に楽しめるようになる。



5

## ドイツの取り組み

ゴミ箱を設置するためにドイツがどのような仕組みで行っているか調べてみた。

### ・スマートゴミ箱の導入

ゴミ箱が満帆になると管理者に通知されるシステムが導入されているゴミ箱

### ・罰金制度

不法投棄や不適切な分別を行った際に課せられる罰金制度

ドイツでは分別意識の徹底やデポジット制度、罰金制度、スマート技術の活用により、効率的にゴミの管理が行われている。

### ・清掃とメンテナンス

ゴミ箱のメンテナンスや清掃スタッフによる定期的な巡回

### ・デポジット制度

人々が自発的にリサイクルに協力するようにする制度

でもゴミ箱の設置や清掃スタッフとメンテナンスの費用はどこからでているの？

### ・企業の協力

ドイツの自治体は企業やコミュニティと協力し、リサイクルやゴミの削減に取り組んでいる。例えば、企業は製品に対してリサイクル可能な製品を作るなど

6

# 予算

ドイツでは予算は税金だけでなく、罰金のほか、EUやドイツ連邦政府からの補助金、デポジット制度による収入など財源が多岐にわたる

ドイツやスウェーデンで導入されている  
**デポジット制度**とは？  
デポジット…「預かり金」や「保証金」という意味

1 デポジット金が上乗せされた ペットボトルを買う	通常金額 ¥120 + デポジット金 10 10 合計金額は 140円
2 ペットボトルを返却すると デポジット金が返ってくる！	デポジット金 10 10 返ってくる！

自治体の予算  
・税金  
・ゴミ処理税

罰金収入  
不法投棄や不適切な  
ゴミ分別に対して  
課せられる罰金

EUやドイツ  
連邦政府から  
の補助金  
環境保護や都市開発の  
ためのプロジェクト  
ならEUやドイツ連邦  
政府から補助金が提供  
されることがある

デポジット  
制度による  
収入

## そもそもなぜ日本の街には ゴミ箱が置いてないの？

- 1995年3月20日に起こった地下鉄サリン事件を契機に、ゴミ箱がテロに使われる可能性があるとの理由でゴミ箱が撤去されたから。

↓

- そのためゴミは自分で持ち帰ることが奨励され、駅や公共施設でもゴミ箱がないことが一般的になった。



## 日本にゴミ箱を設置できる可能性①

### スマートゴミ箱

スマートゴミ箱には主にセンサーや通信機能が組み込まれており、ゴミ箱が満杯になると自動的に通知したり、ゴミの分類を自動化するなどの機能を持っています。ここに危険物を感知するセンサーやAIを用いたシステムを組み込むことによって、ゴミ箱を利用したテロを未然に防ぐことができる。



9

## 日本にゴミ箱を設置できる可能性②

### 予算

これだけの技術を用いるゴミ箱だからコストは相当掛かると思う。  
だからドイツのように様々な政策を講じて予算を抑える必要がある。

私の案としては地域の環境保全に責任を負う熊本市と水資源はじめ環境資源の保全に高い意識を持つ半導体企業であるTSMCが連携するのはどうかと思う。

熊本市とTSMCが協力関係を結びゴミ箱設置の施策を講じることで未来の熊本の環境が守られれば、熊本市民とTSMCは、ともに繁栄し続けられると考える。

10

## まとめ

- 日本にスマートゴミ箱を導入することでテロを未然に防ぐことができるため、問題を改善することができる。
- TSMCと協力関係を築くことでゴミ箱導入にかかるコストを大幅に抑えることができる。
- スマートゴミ箱を導入することで暮らしやすい街を作ることができ、市民や観光客が快適に過ごすことができる。  
またSDGsにも貢献でき地球に優しい街を作ることができる。

熊本はTSMCの進出もあり多くの資金を得ることができます。今だからこそできるスマートゴミ箱の導入、私達熊本が先行しておこなっていきませんか！



11

# 個の尊重と他者配慮

A. S. (熊本信愛女学院高校2年)

## 1 はじめに

本報告書では、個人主義的性格と他者配慮的性格を兼ね備えた人材の育成を目指すための手法を提案し、その効果について考察する。

## 2 背景

2023年、2024年の2年間熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業を通して多くのドイツ人と活動を行ってきた。

私に関わったドイツ人は自分をもっていて積極的に意思表示をする人ばかりだった。ドイツ人の国民性として個人主義が挙げられる。これは他者や社会全体への配慮を前提とし多様性を認め合うという点で、自己の利益だけを考え他のことは考慮しない利己主義とは異なる。

日本には、古来より他者配慮の文化があり、現代の日本人にはその感性を大切にしようという意識がある[1]。この文化は、「おもてなし」、あるいは「ホスピタリティ」と言い換えることもでき、世界でも高く評価されている。その一方で、自己主張が苦手であったり自分のことを蔑ろにしたりする人が多いのも事実である。人格形成において重要な幼少期や学生時代には、親や先生から自身の発想や意見を否定されたり、大多数と同じであるように言われたりすることも少なくない。“我慢は美德”という観念も根強くある。つまり私たちは常々自己抑制を求められてきたのである。現代を生きるほとんどの日本人はこういった経験をしている。このことが自己主張を苦手とする日本人が多いことの一因であると私は考える。

そこで私は次のような考えに至った。私が出会ったドイツ人がもっていた個人主義的な性格と、日本人の持つ他者配慮的な性格とを掛け合わせた人が増えればより良い社会に近づくのではないか。



家ではボードゲームも楽しんだ

### 3 問題提起

自己主張を苦手とする日本人が多いのは幼少期から自己抑制を求められ、主張すれば否定されるという経験を多くの方がしているからだと先に述べた。しかし私は自己抑制を求め否定してくる人に、責任があると考えているわけではない。彼らがその行動に至るのは、彼らも同様に一斉で同質な教育によって育てられてきたからであり、自分と違うものを認めがたいからであると私は考えた。つまりこの問題を解決するためには、多様な立場や考え方、価値観と触れ合う機会が必要である。このことは同時に日本の目指す共生社会の実現にもつながる[2]。

### 4 課題解決のアイデア

多様性に触れる機会の増大という課題の解決に向けて、私から3つ提案する。

#### (1) 体験型ワークショップの実施

文化、宗教、ジェンダー、障害といった多様なバックグラウンドをもつ人々と直接交流するワークショップを開催する。

例) 異文化体験プログラム、障害体験、世代間交流

メリット：理解の促進、正しい知識の獲得、偏見や誤解の減少

デメリット：一時的理解にとどまる可能性、その人をその典型だと思ってしまう可能性

このデメリットを解消するためには、イベントの継続や丁寧な説明、参加者の意見を聞いた上でのフィードバックが求められる。

#### (2) 多様性を評価するコンテストの実施

学校などのコミュニティで、異なる考え方や行動を尊重し評価するコンテストを実施する。独自性や発想力を評価する行事や賞をより多く設ける。

例) アイデアコンテスト、アート作品の評価、発明・工作コンクール

メリット：個人の自信につながる、互いに刺激を与える

デメリット：評価基準の決定が難しい

#### (3) ボランティア活動への参加

多様な価値観に触れることが可能なボランティア団体に所属し活動する。

例) 日本にいる留学生や移住者への日本語学習サポート、災害支援ボランティア

メリット：普段とは異なる物事の見方ができる、社会貢献の実感、対話スキルの向上

デメリット：時間と労力の負担、精神的負担

## 5 効果

自分や身の回りにはないものの存在を知ることによって多様な発想を得ることは、斬新な意見が認められやすく、発言しやすい環境づくりの第一歩になると私は考える。社会における働きやすい労働環境や学習成果の向上も見込める。私は、あるものが他者に認められ評価されることで、私たち日本人の多くはそれが良いものであることをはじめて認識することができるのではないかと考える。だからこそ、互いに認め評価しあうことによって、多様なものであふれた興味深い社会になると私は思う。

自分と異なるものを恐れる気持ちには大いに共感するが、知らないことの方がより怖いと私は思った。受け入れなくてもいいが、受け止めて認める姿勢が大事だと考える。この報告書がより多くの若者の共感に結びつくことで、日本の目指す共生社会の形成への一助となることを期待している。

### 参考文献

- [1] 国土交通省, 令和元年版国土交通白書第3節「日本人の感性（美意識）の変化」, 2019, <https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h30/hakusho/r01/html/n1131000.html>, 2024/09/29 閲覧.
- [2] 文部科学省, 初等中等教育分科会（第80回）配布資料. 共生社会の形成に向けて, 2012, [https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/attach/1325884.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/attach/1325884.htm), 2024/09/29 閲覧.

# 文学から、「今」、異文化交流を推進するべき理由

T. M. (熊本学園大学付属高校2年)

## 1 はじめに

グローバル化が進む現代、異なる文化を持つ人と関わらずに生活していくことはほぼ不可能である。そうした社会情勢にあっても、偏見や差別が未だ無くならないのは深刻かつ解決が必要な問題だと、私は考える。ではなぜ偏見、差別が無くならないのか。その理由を、私の好きな文学と繋げて考えてみようというのが、今回の報告書のテーマである。

## 2 私にとっての今回のドイツ研修

偏見や差別を無くすためには、まずそういったことが何を原因として起きているのか探る必要がある。

私が今回、初めて欧州、ドイツに渡航してホームステイするという経験を終え家に帰った時、母親から、「あんた、なんか何も変わった感じしないわね」と言われた。自分でも渡航前と渡航後を一度振り返ってみると、確かに価値観が大きく変わってはいないなと思った。その後母親に「結構、あんたにとっては想定内って感じの旅だった？」と言われ、合点がいった。確かにその土地に足をつけて景色を見ることこそ初めてではあれど、文化の違いには昔から幼い頃から慣れていたし、新しいことに面食らうという経験はそこまで少なかった。そういう意味では「想定内の旅」だったのかもしれない。

## 3 経験の個別化

では、今回の旅が私にとって無意味なものだったかという、それは大きく間違っている。間違いなく今後の人生を豊かにするような経験になったと心から感じている。それは、「異文化との交流」という経験を、僕だけの個別なものにできたからだ。

ある調査では、Z世代が留学する理由において、「異文化理解の促進」(29%)が「言語能力の向上」(32%)に次いで高くなっている[1]。ここでいう異文化理解とは何である



パートナーと私(左)

かを考えると、先程述べた異文化との交流を自らの特別な経験として個別化するという  
ことではないかと思う（図1）。この個別化のプロセスにおいて重要なのは、異文化交流によ  
って直接得られた自分にとって真実である情報を、それ以外の、例えば見聞きするなどし  
て間接的に得られた情報と整理したうえで知識として融合し、異文化理解に役立つフィル  
ターとして自分自身に備えておくことである。

今の時代、スマホで調べれば異国のことはすぐに分かる。風土から地理、何でも画面上  
で完結できる。それなのに、わざわざ自らの足で異国の地を踏むのは、自分の五感を刺激  
してくるような、自分だけの、その時だけの経験を望んでいるからではないかと思う。



図1 個別化による異文化理解の仕組みの生成

#### 4 個別化することで偏見が実際の景色に変わる

今回のドイツ研修を終えて、私にとって一番大きな財産となったのは、実際の景色を見  
て、肌の触れ合う交流が出来たことだ。英語は全然出来なかったけれど、パートナーと一  
緒にご飯を食べたり、ジェットコースターに乗ったり、些細なことで笑い合ったり出来た  
ことは、何にも代え難い。紛れもなく宝物だ。

そしてそこには、一切の偏見が介入する余地がない。見た景色は見たままだし、触れ合  
った経験はそれ以外の何物でもないからだ。経験が個別  
化されたことで、「ドイツ人は」だとか、「あの人たち  
は」というように主語が大きくなることなく、「私のパー  
トナーは」とよりパーソナルな視点で捉えることができ  
るようになった。

#### 5 文学における個別化の重要性

私は小説を書くことが趣味の一つなのだが、経験を個  
別化することによってより洗練された文章が書けるよう  
になるということがよく起きる。



船上パーティーの様子

例えば、医者が主人公の小説を、私と本当の医者 of 二人が書くとする。私が書くとき、どうしてもスマホなどで医者 of 仕事などについて調べることになるだろうが、それは世間一般で共通する大まかな事柄をまとめたものでしかなく、細かな表現は想像に頼るしかなくなるのだ。異文化理解においては、この想像が偏見に繋がるのではないだろうか。

対して医者であれば、自分の経験が何よりのヒントだ。スマホに書いてあることよりずっと細かなことまで自分の経験を伴って捉えられる。そこには一つ一つの、その時にしかない会話や息遣いがあるからだ。

このように、文学を例にとってみても経験の個別化によって得られる恩恵は大きい。

## 6 今だからこそ、地に足をつけて

以上のことから、スマホが普及し、多くの情報が簡単に手に入る時代にも、だからこそ、自らの足で異なる文化に踏み入れることの重要性は再認識されるべきだと考える。

私は将来、日本で日本のためになることがしたいと考えているが、だからといって日本のことだけを知っていればいいという話ではないと考えている。個々の異文化との経験をを持った人が増えていけば、さらに魅力のある視点が生まれると考える。

### 参考文献

- [1] PRTIMES, 株式会社 RECCOO, Z 世代調査「大学生の留学の目的」調査レポート, [https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000128.000033607.html](https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000128.000033607.html), 2024/09/29 閲覧

# 「雲外蒼天」な日々と将来への決意

S. N. （熊本高校3年）

## 1 はじめに

私は8月に熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業の団員としてドイツのハイデルベルク市を訪問した。初めての海外生活で最初は戸惑いも多くあった。しかし帰国時には、もっとハイデルベルクに滞在したいと思うほど素晴らしい日々を過ごすことができた。そんな私のハイデルベルク市での日々を大きく2つの観点からお話しようと思う。

## 2 ハイデルベルク市での経験と学び

初めての海外生活への大きな期待と不安を抱きながら迎えた初日。パートナーと1年ぶりに再会したが、私は早速壁にぶつかった。それは自他ともに認めるほど、私とパートナーの性格に大きな差があったことだ。そのうえ私はパートナーほど英語を流暢に話せず、意見に圧倒されることもあった。昨年の熊本での交流から感じていたことであり、また昨年のように交流が終わってしまうのではないかと初日から落ち込んだ。

しかし、そこで私の大きな支えとなる出会いがあった。それはホストファミリーとの出会いだ。初めて会った際、緊張して言葉を続けることができなかった私に、家族や日本の文化についてたくさんの質問をしてくれて徐々に緊張がほぐれた。同時に日本から来た私を快く迎え入れて、気遣ってくれたことにとても心が温かくなった。

次の日には、パートナーとホストファミリーに日本から持ってきたお土産をひとつひとつ英語で紹介しながら渡した。私の拙い英語を汲み取ろうとしてくれて、とても話しやすくなったことを鮮明に覚えている。ここには書ききれないほど、素晴らしい思い出があり、私のハイデルベルクでの日々は生涯忘れられないものとなった。

そんなハイデルベルクでの日々から私が学んだことは、「心から楽しいと思える環境を見つけること」の重要性である。私の場合はそれがホストファミリーとの交流であった。たった8日間。戸惑いを覚えることも多かったが、私はホストファミ



ハイデルベルクでの思い出を振り返りながら  
過ごした船上パーティーで見た景色

リーのおかげで、振り返ったときに参加してよかったと断言できる交流となった。そして1年前の、英語で会話することを躊躇していた自分から脱却することができた。これは私にとって大きな成長であり、今後の自信にもつながる経験であった。

### 3 将来の目標に対する思いの変化

今回の交流事業では、フランスのストラスブールにある欧州議会を訪れることができた。そのなかで本会議場を見学し、実際に働いている方の話を聞くという貴重な経験をすることができた。私が「欧州議会で働く人の中で欧州連合加盟国以外の国から来た人はいるか」と質問したところ、「私の同僚には韓国やモンゴル出身の人がいる」と回答してくださった。欧州議会だから当然、欧州出身の人だけで構成されていると思い込んでいたが現場では加盟国以外の国出身者も多くいる、そして必要とされているとわかった。

また、ニュースなどでも取り上げられているように2022年時点で国際連合で働く人の全体に占める日本人の割合は約2割となっている[1]。日本は通常予算に占める分担率がアメリカ、中国に次ぐ3番目であるにも関わらず、職員数は9番目なのだ[2]。

今までの私は漠然と、世界が抱える諸問題の解決に関わりたいと思っていた。しかし、今回の交流事業を通してその考えだけでは不十分だと気付いた。欧州議会での経験や国連の現状を踏まえ、私が見つけた目標。それは日本人の意見を明確に伝え、日本と諸外国の橋渡し役を担うことだ。ハイデルベルク市での交流では周囲の人々のおかげで心に残る日々を過ごすことができた。そして自信を得ることもできた。その経験から「次は私が国際協力という形で誰か支えていきたい」と強く思った。

### 4 むすびに

今回の交流事業に関わってくくださった熊本市・ハイデルベルク市の方々、一番近くでともに支え合った団員、日本から常に応援してくれた家族に感謝を伝えたい。そしてたくさんの方の尽力のもと、素晴らしい経験をさせてもらったことを忘れず今後も将来の目標に向かって自信を持って歩いていきたい。



ストラスブールにある欧州議会

#### 参考文献

- [1] 外務省, 国連関係機関における日本人職員数, [https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press5\\_000098.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press5_000098.html), 2024/11/06 閲覧.
- [2] FNN プライムオンライン, 「国連」で働く日本人 956 人で過去最多も～日本のプレゼンスは高まる?, <https://www.fnn.jp/articles/-/411135>, 2024/11/06 閲覧.

# ステレオタイプを超えて

## ～国際交流がもたらす真の理解～

M. I. (必由館高校3年)

### 1 目的

ステレオタイプに縛られない広い視野を持つことで、グローバルな課題に対して柔軟に対応できる能力を養うことを本報告書の目的に設定した。国際交流を通じて、異なる文化や価値観をさらに理解し、より多角的な視点を持つことが期待できる。

### 2 背景

現代社会では、国際的な経済活動や情報の流通が活発化しており、国境を越えた人々の交流が大幅に増加している[1]。こうしたグローバル化の進展に伴い、異なる文化や価値観を正しく理解し、柔軟に対応できる力がますます重要視されている。しかし、特定の国や文化に対する偏った味方や考え方(ステレオタイプ)が問題になることも考えられる。例えば、日本人が「西洋人はみんな自己主張が強い」と思い込んでいると、その国の人が実際には控えめな態度を取っている場合でも、誤って「冷たい」や「無関心だ」と感じてしまうかもしれない。このような誤解が積み重なると、結果としてコミュニケーションがうまく取れず、協力関係が築けないリスクが生じてしまう可能性がある。熊本市は2024年6月に発表した第2期熊本市国際戦略の中で『多文化共生の推進』を施策の一つに掲げており、異文化を知ることは個々の理解も深まり、地域一人一人の力を引き出せることにもつながるとしている[2]。

### 3 問題点の所在

しかし、ここで問題になるのは既存のステレオタイプがその実現を妨げる可能性があるということだ。特定の文化や国の人々に対して持たれている固定観念が無意識に残っていると、異文化を受け入れる際に抵抗感や偏見が生じることがある。確かに、私もインターネットで調べた情報のみでドイツのパートナーや家族と交流したため、所々こうすべきだという自分中心の意見を持ってしまっていた。だが、よく考えたら自分の理想像に無意識のうちに勝手に当てはめてしまった状態だったからなのではないのかと気付いた。

## 4 提案手法

そこで、私は固定観念にとらわれない柔軟な思考を持つ人材を育てるためにはどのような教材や教育手法が必要なのか、また、それらの教育手法をいかに使用すればこれからの時代に向けた国際的な人材ができあがるのか等を研究する自分だけの研究所を作りたい。国際的な人材の育成という私の研究所の研究テーマに呼応した多くの新たな価値観を生み出そうとするイノベーター達が集まるイノベーションハブを用いることで、よりも一つのことだけでなく多様なことに対してアンテナが立てやすくなり、将来的にも自分自身はもちろん研究所に集まる多くのイノベーター達の財産になるはずだ。多様な人材が集結することで複雑な問題に対する創造的なアプローチが可能になると予測される。多角的な視野を持つことで、従来の固定観念にとらわれず、革新的な解決策を生み出す力が強化され、イノベーション人材が形成されやすくなる（図 1）。



図 1 研究所（イノベーションハブ）導入による効果モデル

## 5 効果

国際的な人材を探るイノベーションハブを用いることで多様な知識や経験を集約し従来の枠を超えたイノベーションが生み出されることで、環境問題や、貧困など世界規模の問題に対して持続可能な解決策を提案する力を育むことができる。

### 参考文献

- [1] 内閣官房, 第 4 回教育未来創造会議配布資料（参考データ集）, <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/dai4/siryoku4.pdf>, 2024/09/04 閲覧.
- [2] 熊本市, 第 2 期熊本市国際戦略, [https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c\\_id=5&id=54297&sub\\_id=1&flid=389093](https://www.city.kumamoto.jp/common/UploadFileDsp.aspx?c_id=5&id=54297&sub_id=1&flid=389093), 2024/09/04 閲覧.



図 2 日本へ帰国する前に船上パーティーで

# 日本とドイツの教育の違いについて

K. Y. (済々黌高校 2年)

## 1 目的

社会のグローバル化が推し進められる中で、私が考える重要な点のひとつは「自分軸」を持つことである。自分軸を作り出す過程で人間の精神面で多大な影響を与える学校教育の日本とドイツ、両国間での違いが、各国の人々にどのような差を生み出しているのかについて考察する。



市街地を散策するパートナー

## 2 背景

今年度ハイデルベルク市を訪問し、パートナーやホストファミリーとの会話の中で、私の将来の進路について尋ねられたことがある。私は曖昧なイメージしか持っておらず、明確な回答をすることができなかった。また、パートナーは政治や社会情勢に興味がある様子で、ホストファザーと世界の社会情勢について議論したり、EU 連合本部訪問の際は、いくつか質問を挙げたり、EU 側の方からの質問に積極的に答えたりしていた。

今回の訪問での経験を通じて、私にはこれが好きだと自信を持って言える関心事がないことに気づいた。周りを見渡せば、私と同じような日本人はたくさんいるのではないかと。私はこれまでの学生生活で多くの知識に触れ、将来について考えさせられる時間も多かった。ではなぜ、両国人とも同じ学校という施設で学ぶのに、将来について、また自分の関心事についてこれほどまでに差が生まれてしまうのだろうか。

## 3 問題解決に向けた提案

そこで私は、自分自身のような自らの将来や関心事に真剣に向き合えない学生に向けて2つの提案を行いたい。

### (1) 一人ひとりが自分の意見を持つこと

この実現のためには学校教育において答えを一つに絞らないことが必要だと考える。2つの例を挙げる。

- ・国語や英語では文法的な面を除いて多様な表現、意見の持ち方が大切でそこに正誤を求めてはいけないと思う（大幅なずれを除く）。
- ・歴史や政治・経済なども、重要事項の記憶もちろん重要であるが、それに付随してそれらの出来事に関係することについて一人ひとりの意見をもたせることも重要であるとする。

こうすることで誰もが個々の意見・考えを持ち、その意見同士を交わらせる=議論が生まれることも可能であると考えられる。

## (2) 積極的な学習法

日本の学校教育の形態は一般に受動的であると言われる。つまり、教師が知識を生徒に与え、暗記させるといったものである[1]。それに対して海外は積極的である。海外の学校では自分から何かに興味を持ち、解決策を探すことを求められる[2]。

日本の学生は勉強する目的をできるだけ高い成績を修めてできるだけ難関とされる高校・大学に入ることを目的としている人が多いのではないかと。少なくとも私もそのような考えだった。だがそこに目的がないことに気づいたのはドイツを訪問してからだった。

その入った学校でどのような目的を持って勉強し、どのようなものに興味を持って突き詰めて、将来何をしたいのか。このことに焦点を定めている学生が少ないことから冒頭で述べたような海外との差が生じるのではないかと？



パートナー（左）とホストマザー

## 4 具体的な解決策

私が主に考えた改善すべき点は以上の2点である。これらの改善に向けて考えられる解決策は学校自体の方針と生徒一人ひとりに課せられるものの2つに分かれる。

### (1) 学校自体の方針

上記3(1)で述べたように、学校教育では生徒の意見をもっと生み出すことが必要では無いただろうか。現在「総合探求の時間」が取り入れられているように、主要教科も一人ひとりがとある事象に対して疑問・意見を持ち、その事象に対して多様な面から考え、議論するという時間も取り入れるべきだと思う。日常的に学校で意見を持って互いの意見を交わらせることに抵抗をなくせば、たとえ言語が変わろうとも正々堂々海外の人たちとコミュニケーションを取ることに壁も取り除かれていけようかと私は考える。

## (2) 生徒一人ひとりの指針

自分の考えを持ち、それらを交わせる（議論をする）ためには、周囲の環境の変化に頼るばかりでなく、個人個人による「自分軸」の形成が必要であると考えます。

ここで、自分軸について説明する。自分軸とは、「自分が大切にしている考えや価値観」と「自分の発言や行動が一致している」時に生まれる「一貫性」と定義されている[3]。「自分軸」というワードは知っていても、実際に自分軸を持っている人は少ないのでは無いだろうか。どうしても「他人軸」で物事を考えてしまう人も多いのではないだろうか。

「自分軸」を形成することは容易ではなく、形成するには時間はかかるかもしれないと私は考える。実際ドイツに行って、私と同じくらいの年齢の人たちが、個々で自由と責任を持っている、いわば自立しているように思えたのは、多かれ少なかれ「自分軸」も関係しているのではないだろうか。ドイツでのパートナーたちとの経験を通して、自分軸の形成に必要だと感じたことは、学校教育ももちろんだが、身の回りの様々なことに興味を持つことをはじめとし、その物事に対して単なる感想同然の希薄なイメージを持つのではなく、時間をかけて思考したり詳細に調べることで突き詰めてみたり、少しでもいいから自分の意見を持つことが必要だと思う。そこから徐々に自分の「在り方・信念」のようなものを得られれば良いと私は考える。

## 5 むすび

上記で述べたことが、グローバル化を進める日本にとって、言語力と同等に重要なことであると思う。学校教育の改善と個人の僅かな心がけによって一人ひとりが「自分軸」を持つ確立した個人になることで国内外かかわらず誰とでも心からのコミュニケーションをとることが可能になると私は考える。

### 参考文献

- [1] 文部科学省, 1.我が国における「学校」の現状, 2016,  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1379013.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryo/attach/1379013.htm), 2024/09/29 閲覧.
- [2] Kultusministerkonferenz Bildungsstandards,  
<https://www.kmk.org/themen/qualitaetssicherung-in-schulen/bildungsstandards.html>, 2024/09/29 閲覧
- [3] NPL FOCUS, 自分軸とは？誰もが持つ自分軸を見つける3つの心理的アプローチ,  
<https://www.nlpjapan.co.jp/nlp-focus/own-laws.html>, 2024, 2024/09/29 閲覧

## 知識を広げ視野を広げた 10 日間

M. S. (クラーク記念国際高校 2 年)

### 1 はじめに

今回私は実際にハイデルベルクで 1 週間を過ごして、多くの日本との違いを感じました。その中からもっとも印象に残っているもの 2 つについて記述します。

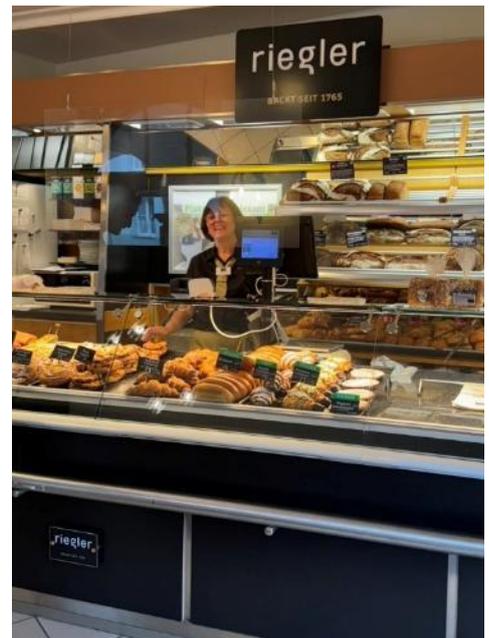
### 2 外国語の能力

まず、ハイデルベルクの学生の英語力をはじめとする外国語の能力の高さです。私のパートナーは英語を話せる上に、スペイン語やフランス語を勉強していました。なぜ勉強するのか尋ねたところ、その国に実際に行ったり友達を作ったりしたいからという答えが返ってきました。さらに聞けば、パートナーだけでなく、パートナーの友達の多くが同様に複数の外国語を勉強しているとのことでした。

### 3 笑顔 = コミュニケーション能力

次に、ハイデルベルクの人々の人柄です。なんとなくハイデルベルクに行く前から海外だから気さくで明るい人が多いんだろうなと思ってはいましたが、自分の想像以上でした。最終日の朝、パートナーの家の近くのパン屋さんに行くと店員さんが笑顔で「Guten Morgen!」（おはよう！）と声をかけてくれました。最終日ということもあって悲しくて気分が少し落ちこんでいたけれど、この一言で一気に悲しい気持ちもなくなり、明るく挨拶を返すことができました。

私は、日本では、多くの店員さんもあまり笑顔がないように感じるし、お客さんの多くも店員さんに対して笑顔で話さないと感じていたので、ドイツのこういったちょっとした笑顔をくれる文化がすごく暖かく感じました。パン屋さんだけでなくどこのお店に入っても笑顔で店員さんが挨拶をしてくれてすごく気分が良かったし嬉しかったです。



パン屋さんの素敵な笑顔

私もこれからの日常でちょっとしたことでも笑顔を絶やさないように生活しようと思えました。

#### 4 日本における英語（外国語）修得の問題点

それでは、なぜ私は英語で笑顔いっぱいのコミュニケーションがこれまでできなかったのでしょうか。

私の日本の友達に外国語を勉強している友達は少なく、海外に興味を持っている子もあまりいません。なぜこんなに違いがあるのか考えた時、英語の教育方法に何か違いがあるのではないのかと思いました。

ドイツでも英語は小学校4年生から勉強を始め、日本と同じです。でも違いは授業の仕方にあると思いました。ドイツではスピーキングを主に勉強をするらしいですが、日本では文法を主にしているので難しく考えすぎてしまうのではないのでしょうか。日本の学校の英語の授業は単語と文法に重点を置きすぎていて、スピーキングのトレーニングが少ないと感じます。

さらに、英語の授業では必ず和訳を求められます。常に英文を和訳することによって英文を一旦頭の中で和訳する癖がついてしまいます。そのため、和訳して考える癖があると会話のテンポも遅れ話が噛み合わない、会話が弾まないということが起こります。そのことから英語が難しいと感じてしまい、外国語を勉強するのはすべて難しいんだという考えに至ってしまうのではないのでしょうか。

なぜ英語力が低いまままだといけいのでしょうか。まず、就職時に英検など英語の資格試験を要求する会社も最近だんだん増えてきていると思います。これは海外進出を視野に入れた時即戦力となる人材を確保したいからだだと思います。それに英語や外国語ができると友人をつくる上でも外国語が話せるのと話せないのではコミュニケーションの幅が全く違います。外国語を話せることで大きく世界が変わると思います。

#### 5 日本における英語力向上策の提案

これまでに述べた日本とハイデルベルクとの違いのうち、将来英語を用いた仕事を目指している私は英語力の違いに着目しました。以下で、日本人の英語力をアップさせるにはどうすればよいのか、私の2つのアイデアを紹介します。

### **(1) スピーキングの重視**

まず学校の英語の授業の方法を変える必要があると思います。文法に重点を置くのではなく、スピーキングに重点を置きインプット（聴くこと、読むこと）、アウトプット（話すこと、書くこと）の量を増やすのはどうでしょうか。頭に入れ、それを応用することで英文を和訳して考える癖が徐々になくなり、英語を英語で考える英語脳になるのではないかと思います。

### **(2) 間違いを恐れないマインドと笑顔**

次に間違いを恐れないマインドを持つことです。私が思うに英語を含め外国語が話せるようになる1番の方法は間違いを恐れないことだと思います。私自身英語や韓国語を勉強していて、実際にその言語を使う人と話すとなると、「正しいかどうか」という不安や、「発音が下手かも」という恥ずかしさから話すことを避けてしまっていました。今回ドイツに行き感じたことは、たとえ自分の話す英語の文法が正しくなかったとしても、また単語を並べただけだとしても、伝えたい気持ちがあれば表情や声のトーンなどで相手は理解してくれます。ですからドイツで出会ったパン屋さんのように笑顔で堂々と話すことが大事だと思います。

## **6 むすび**

今回私はドイツに行き、少しだとしても成長することができたと思います。ドイツに行く前の私はまさに文法に重点を置きすぎて和訳することでいっぱいいっぱいでした。でもドイツでホームステイを経験し、文法や発音に必要以上にとらわれず、相手に自分の気持ちを伝えたいというマインドで堂々と話すことができるようになりました。

今回経験して学んだことをこれからの人生に活かすことで、自分の描く将来像に近づいていきたいと思っています。

## 4 まとめ

令和6年度（2024年度）熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業では、ハイデルベルク市青少年団体連絡協議会、必由館高校、崇城大学 IoT・AI センター、鳶屋書店熊本三年坂（ニューコ・ワン）、熊本シティエフエム、SCB ラボなど、多くの団体の協力のもと、グローバル人材育成に向けた多様な交流を行うことができた。

熊本市青少年交流団員らはグローバル人材として成長するために、今回構築した団員同士や団員とパートナーとのつながりや本交流事業で得た経験を活かして様々な事柄にチャレンジしていくとともに、次年度以降の交流事業に参加する新たな団員らに対してアルムナイ（同窓生）として体験を伝えていくことを約束している。

本事業を推進する熊本市教育委員会としても、団員らに活躍の場を提供するなど引き続き支援していくとともに、事業に対して自律的に協力する企業や団体との良好な関係性を保つことで友好都市盟約締結から32年目となる次年度以降のハイデルベルク市との青少年交流事業を着実に推進し、グローバル人材の育成に継続して取り組んでいく。



仲間たちとの記念撮影

## 参考文献

- [1] 文部科学省, 産学連携によるグローバル人材育成推進会議, 産学官によるグローバル人材の育成のための戦略, 2011.
- [2] 令和3年度（2021年度）熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業オンライン交流の記録（活動報告書）, 2022.
- [3] 令和4年度（2022年度）熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業オンライン交流の記録（活動報告書）, 2023.
- [4] 星合隆成, つながり科学 地域コミュニティブランド, 木楽舎, 2018.

## 付録 1 メディア出演及び関連活動の記録

[メディア出演 1] 2024年2月以降

毎月1回、熊本シティエフエムレギュラー番組「高校生〇〇開花」出演



[関連活動 1] 2024年7月25日崇城大学IoT・AIセンター主催

仮想空間デザインコンテスト 審査員特別賞受賞



[関連活動 2] 2025 年 1 月 13 日・19 日 熊本市教育委員会主催  
熊本エデュケーションウィーク オープニング&クロージング総司会



[関連活動 3] 2025 年 3 月 16 日 熊本日独協会／崇城大学 IoT・AI センター／SCB ラボ  
主催 第 2 回グローバル時代に生きる若者の意見発表会（予定）

# 付録 2 団員研修資料

## 第 1 回事前研修資料 (2024/05/26 @熊本市立中央公民館)

<p>8. 第1回学習会 資料</p> <p>ドイツ・ハイデルベルクに関する学び ～交流の機会を最大限に活用するために～</p> <p>2023年5月26日 熊本市中央公民館 熊本市教育委員会 講師 SCBツボ 内藤 豊</p> <p style="text-align: right;">1</p>	<p>目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイデルベルク市の概要説明 P25             <ul style="list-style-type: none"> <li>データでみるハイデルベルク市の概要</li> <li>ハイデルベルク市の特徴</li> </ul> </li> <li>ドイツ訪問時の心構え P30             <ul style="list-style-type: none"> <li>文化や法律、ルールの違い</li> <li>多様性および個の尊重</li> </ul> </li> <li>機会を活用し未来人材へ P32</li> <li>担当や出し物決め P42</li> </ul> <p style="text-align: right;">2</p>
<p>ハイデルベルク市の概要説明</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>位置 東経 8°42' 北緯 49°24'</li> <li>標高 116m</li> <li>面積 109平方キロ (熊本市の1/4)</li> <li>人口 159,245人 ('21.12月末現在)</li> <li>年平均気温 11.1℃ 22年最高気温 37.6℃ 22年最低気温 -15.7℃</li> <li>言語 ドイツ語</li> <li>民族 ドイツ人 (ゲルマン民族が大部分)</li> </ol>  <p style="text-align: right;">3</p>	<p>ハイデルベルク市の特徴 (産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育/研究 ハイデルベルク大学 (欧州屈指/世界43位) 世界トップレベルのバイオサイエンス</li> <li>医療 ハイデルベルク大学病院 (欧州最大の医療施設のひとつ)</li> <li>ハイテク ソフトウェア、システム開発、印刷システム、化学製品</li> <li>観光 ハイデルベルク城、古い橋、哲学者の道、ネッカー川</li> </ul>  <p style="text-align: right;">4</p>
<p>ハイデルベルク市の特徴 (産業①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境 SDGs推進</li> <li>パッシブハウス群「バーンシュタット」</li> </ul>  <p style="text-align: right;">5</p>	<p>ハイデルベルク市の特徴 (産業②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光             <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイデルベルク城</li> <li>古い橋 アルテブリュッケ Alte Brücke</li> <li>哲学者の道</li> <li>ハウプトシュトラッセ (メインストリート)</li> <li>マルクト広場</li> </ul> </li> </ul>  <p style="text-align: right;">6</p>
<p>ハイデルベルク市の特徴 (友好都市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パウツェン (旧東ドイツ)</li> <li>ケンブリッジ (イギリス)</li> <li>杭州市 (中国)</li> <li>熊本市 (日本) 1992年～</li> <li>モンペリエ (フランス)</li> <li>パロ・アルト (アメリカ)</li> <li>レホポート (イスラエル)</li> <li>シンフェロポリ (ウクライナ&lt;クリミア&gt;)</li> </ul>  <p style="text-align: right;">7</p>	<p>ドイツ訪問時の心構え①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ人の気質：まじめ、シャイ、個人主義、独立心</li> <li>文化や法律、ルールの違い             <ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒：低アルコール (ビールやワイン) 16歳 &amp; その他18歳</li> <li>喫煙：18歳</li> <li>選挙権：18歳</li> <li>社交場：ディスコやゲーム場入店16歳未満NG &amp; 16～18歳24時まで</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">8</p>



アルムナイたちと話してドイツでの生活に関する不安が解消できました！

## ドイツ訪問時の心構え②

- ・多様性：人種、年齢差、性差…とられない
- ・個の尊重：個人 > 家族 > 社会  
ただし…バランス感覚がある。

### ★豆知識

お金の使い方（マリアさんに） Payback Pay/N26

- ティッシュペーパー / ウェットティッシュ ・ダイソーの変換プラグ  
・カップうどんや味噌汁など日本の物（作って見せる）  
・予備のスマホ ・右巻に対応できるバッグ
- × ・ヒールの高い靴 ・高価な物

9

## 長期的視点で交流を捉える

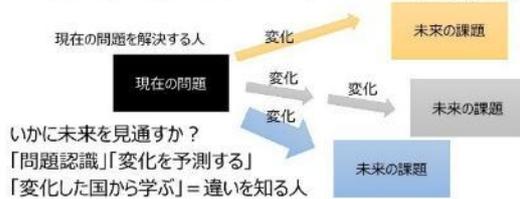
- ・未来の課題を解決できる人材が社会には必要
- ・団員として選ばれた  
= 未来人材になるチャンス！



10

## 未来人材になるために

- ・未来人材 = 未来の課題について考えられる人 未来の課題を解決する人



11

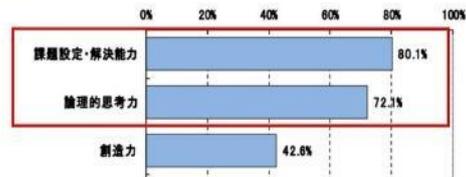
## 未来人材こそが社会に求められている

12



13

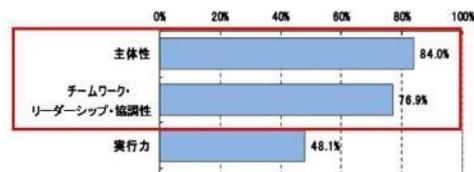
## 特に期待する能力



一般社団法人 日本経済団体連合会 採用と大学改革への期待に関するアンケート結果, 2022年1月18日

14

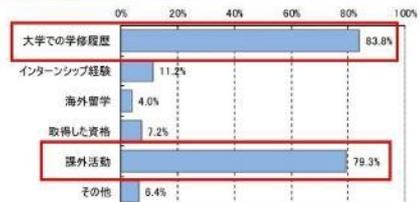
## 特に期待する資質



一般社団法人 日本経済団体連合会 採用と大学改革への期待に関するアンケート結果, 2022年1月18日

15

## 最も重視する学生の学修経験

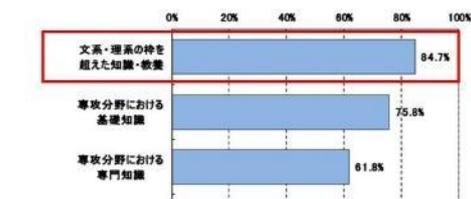


一般社団法人 日本経済団体連合会 採用と大学改革への期待に関するアンケート結果, 2022年1月18日

(n=376)

16

## 特に期待する知識



一般社団法人 日本経済団体連合会 採用と大学改革への期待に関するアンケート結果, 2022年1月18日

17

## 身に着けなければならないこと

課題設定・課題解決力	論理的思考力
主体性	協調性
学習成果・課外活動	文・理を越えた知識と教養

18

## この幸運を最大限に活用

- いま、この時を活かす  
「幸運の女神には前髪しかない」
- 違いを知るために学ぶ  
「巨人の肩の上に乗る」
- **自分で考えて行動する**
- つながりを作る・活用する  
(ドイツのパートナー / 志を同じくする仲間E.I.Y.)



自分で考えてやる	◎	○
自分で考えてやらぬ	×	△
言われたことをやらない		言われたことをやる

19

## 担当（リーダー）決め、出し物決め（午後実施）

- 内容は自由
- 歌やダンス？（ドイツ側の返礼の出し物あり）

- 例えば・・・
- 日本の高校生あるあるクイズ
  - スマホの使い方自慢や利用ルールの比較
  - 環境問題への意識の違いアンケート



20

## 第2回事前研修会

- 日時 2024年6月22日（土）13:00～16:00
- 会場 熊本市中央公民館
- 携行品 筆記用具・フォトブック
- 活動内容
  - ドイツ語 & 文化体感プログラム
  - 英語学習
  - 出し物について検討



21



アルムナイとの交流の様子



小島教育次長（団長）挨拶



作戦タイム

## 第2回事前研修資料 (2024/06/22 @熊本市立中央公民館)

### 令和6年度(2024年度) 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業(派遣) 第2回事前研修会

熊本市教育委員会 地域教育推進課  
2024/6/22

### 目次

- 初めてのドイツ語  
講師 熊本市国際交流員 マリア・ウォーニヒ先生
- 使える英語フレーズ講座  
講師 KOTOVAR代表 高本清香先生
- フォトブックでコミュニケーションワークショップ  
講師 マリア先生/宮本先生  
講師 必由館高校教諭 中野友加里先生
- その他

1

2

### 初めてのドイツ語講座

Maria Wonig (マリア・ヴォーニヒ)

Lernen Sie einfaches Deutsch!



3

### 英語学習(フォニックス講座)

Sayaka Miyamoto (宮本清香)

The one who will surely  
inspire you and be your role  
model.



4

### 担当(リーダー)

市長表敬挨拶

- 1日目
- 3日目
- 4日目
- 5日目
- 6日目

### 担当(リーダー) 決め、出し物決め

内容は自由

- ラジオ体操?



5

6

### 第3回事前研修会

- 日時 2024年7月6日(土) 13:00~16:00
- 会場 未来会議室下通店
- 携行品 筆記用具
- 活動内容
  - アルムナイ(東京都庁職員)との交流
  - ドイツ留学経験者(大学生)と交流
  - 日常会話(お買い物)ワークショップ
  - 出し物について検討



7

# 初めてのドイツ語！

## Deutsch für Anfänger

6月22日  
国際交流員 マリア・ヴォーニヒ

### ドイツ語が使用されている地域

ドイツ語が母語

- ドイツ
- オーストリア
- リヒテンシュタイン

公用語：スイス、ルクセンブルク、ベルギー

影響を与えた言語：

- ラテン語
- 古代ギリシア語
- フランス語
- イタリア語、イディッシュ語、英語

### インド・ヨーロッパ語族：ゲルマン語派

ドイツ語の段階：

- 古高ドイツ語750年～1050年
- 中高ドイツ語1050年～1350年
- 初期新高ドイツ語1350年～1650年
- 新高ドイツ語1650年～現在

### ドイツ語の発音

だいたいローマ字通りに読める！

Berlin Japan rot blau

Herrnen Damen Hund Danke

Herr... Frau... Katze

Guten Morgen. Good morning.

Guten Tag. (Good day.)

Guten Abend. Good evening.

Hallo. Hello.

Auf Wiedersehen. (I.e. seeing you again)

Gute Nacht. Good night.

Tschüss. Byebye.

### ドイツ語の発音

• eu Freund Arbeit

• ei Ei

• ch Gute Nacht. Baumkuchen

• ie Liebe Biene

• ß Straße

• Sch Deutschland

### 握手・Die Hand geben

- ドイツ人は日本人が握手しないのが分かります
- コロナのために少なくなりました
- しない人もいます
- ホストはゲストと握手をして歓迎する

• 右手で

• 3-5秒以内

• 目を見合わせる

• 少し力を入れてください

### ドイツ語の発音

• Ä ä AのUmlaut

• Ü ü UのUmlaut

• Ö ö OのUmlaut

Käfer Bär König müde Föhn Kühlschrank

わたしの 名前 Mein Name ist Maria.

My Name is

君 あなたの 名前 Wie ist dein Name?

(How) is your Name

どこから 来る あなた Weher kommst du?

From where come you

私 来る から Ich komme aus 「...」.

I come from

Japan Kumamoto

Deutschland Heidelberg

### 動詞の人称変化

人称	寝る	見る	読む	与える
私は	schlafe	sehe	lese	gebe
あなたは	schläfst	siehst	liest	gibst
彼は/彼女は	schläft	sieht	liest	gibt
私たちは	schlafen	sehen	lesen	geben
あなたは	schläfst	siehst	liest	gibst
あなたは	schläft	sieht	liest	gibt
あなたは	schlafen	sehen	lesen	geben

人称代名詞に応じて動詞の形が変わる：



役立つフレーズ

言葉を話せる人はいくらいますか？  
 Spricht hier jemand Englisch? Japanisch?  
 (Speaks here somebody English)

Ich spreche kein Deutsch.  
 (I speak no German)

Ich verstehe nicht.  
 (I understand not)

Hilfe!  
 Help!

復習しましょう！

Hallo!

(Wie ist dein Name?)  
 Mein Name ist (...)

(Woher kommst du?)  
 Ich komme aus (...)

Meine Hobbies sind...

Malen, Sport, Karaoke, Schlafen, Schwimmen, Klavier spielen, Musik, Tanzen ...

Ich habe...

Einen Bruder, eine Schwester, einen Hund, eine Katze, Hunger

Jahre alt.

Es freut mich, dich kennen zu lernen!

Ich bin

1 eins  
 2 zwei  
 3 drei  
 4 vier  
 5 fünf  
 6 sechs  
 7 sieben  
 8 acht  
 9 neun  
 10 zehn

他に知りたいフレーズありますか？

• リストを作りましょう！



宮本先生のフォニック講座

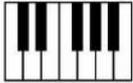
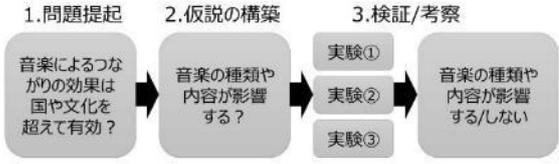
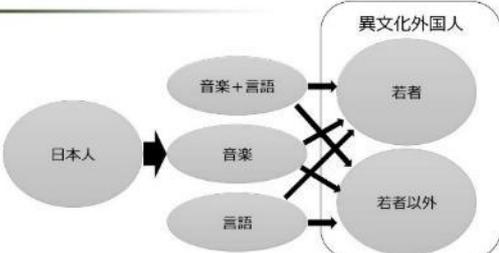


マリアさんからドイツ語を学びました

第3回事前研修資料 (2024/07/08 @未来会議室下通店)

<p style="text-align: center;">令和6年度(2024年度) 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業(派遣) 第3回事前研修会</p> <p style="text-align: center;">熊本市教育委員会 地域教育推進課 一般社団法人SCBラボ 2024/7/6</p>	<p><b>日程</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アルムナイからのZoomメッセージ(約20分) ・後藤優斗さん(東京都庁職員)</li> <li>2. ドイツ留学経験者の先輩(大学生)に聴く(約70分) ・講師 上村レオン/古賀伊織/宮本紫帆 (熊本大学文学部文文学科4年)</li> <li>3. 日常生活&amp;お買い物ワークショップ(約60分) ・講師 熊本市国際交流員 マリア・ヴォーゴヒさん ・講師 必由館高校教諭 中野友加里先生 ・講師 熊本大学大学生のみなさん</li> <li>4. 出し物検討/その他</li> </ol>
<p><b>1.アルムナイからのメッセージ</b></p> <p>後藤優斗(まさと)さん 2015年:  2016年:  2017年~ 2021年~現在まで: 東京都庁(社会人4年目) ※2023年~東京都庁八丈支庁(八丈島勤務)</p>	<p><b>2.ドイツ留学経験者(大学生)に聴く</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師 上村レオン</li> <li>・講師 古賀伊織 (熊本大学文学部文文学科4年 独語独文学研究室所属)</li> <li>・講師 宮本紫帆 (同文学科4年 国際文化学研究室所属)</li> </ul>
<p><b>3.日常生活&amp;お買い物ワークショップ</b></p> <p>日本語禁止!</p> 	<p><b>3.日常生活&amp;お買い物ワークショップ</b></p> <p>日本語禁止!</p> 
<p><b>3.日常生活&amp;お買い物ワークショップ</b></p> <p>日本語禁止!</p> 	<p><b>担当(リーダー)</b></p> <p>市長表敬挨拶 </p> <p>1日目 </p> <p>3日目 </p> <p>4日目 </p> <p>5日目 </p> <p>6日目 </p>
<p><b>担当(リーダー)決め、出し物決め</b></p> <p>内容は自由 ・ラジオ体操?</p> 	<p><b>第4回事前研修会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 2024年7月20日(土) 13:00~16:00</li> <li>・会場 熊本市中央公民館</li> <li>・携行品 筆記用具</li> <li>・活動内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書(論文)作成講座</li> <li>・出し物について検討</li> </ul> </li> </ul>  <p style="font-size: small;">(市庁舎) 熊本市中央公民館</p>

第4回事前研修資料 (2024/07/24 @熊本市立中央公民館)

<p style="text-align: center;">令和6年度(2024年度) 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業(派遣) 第4回事前研修会</p> <p style="text-align: center;">熊本市教育委員会 地域教育推進課 一般社団法人SCBラボ 2024/7/20</p>	<p><b>日程</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イノベーター育成講座「訪独の価値を最大化～社会変革に向けて主張できる団員の育成」(約60分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師 内藤豊 (SCBラボ/崇城大学助教)</li> </ul> </li> <li>2. 動画撮影&amp;制作ワークショップ(約90分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師 内藤豊</li> </ul> </li> <li>3. 出し物検討/その他(30分)</li> </ol>
<p><b>イノベーター育成講座</b></p> <p>「訪独の価値を最大化～社会変革に向けて主張できる団員の育成」</p> <p>10月ごろに開催予定の報告会…内容を充実 内容:各団員の「なにかひとつのこだわり」(上村レオンさん)</p>	<p><b>「科学」の3つの要素</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>問題提起</b> →なぜだろう? どうしてだろう?</li> <li>2. <b>仮説構築</b> →わたしはこう思う、こうであるはず!</li> <li>3. <b>検証(1)実験(2)観察(3)理論</b> →比較するとよくなる。 =誰も知らない(新規性) みんなの役に立つ(有用性) ことを発表する!</li> </ol>
<p><b>1.問題提起/2.仮説の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを決める</li> <li>・自分のテーマにおける「なぜだろう? どうしてだろう?」</li> <li>・わたしはこう思う、こうであるはず! (こうあってほしい!)</li> </ul> <p>例: テーマ音楽 「音楽は人と人をつなげる魔法」(亀田誠治) 問題提起 国や文化が異なる人同士をつなげられるか (先行研究) 仮説構築 ある種類の音楽(歌)を挨拶に用いることでつながりが緊密化</p>	<p><b>3.検証</b></p> <p>手法(1)実験(2)観察(3)理論</p> <p>1日目 Guten Morgen / ます (長調) 2日目 Guten Morgen / ます (短調) 3日目 Guten Morgen のみ . . n日目 毎日or事前事後のインタビューによって比較</p> 
<p><b>モデル化</b></p> <p>モデル化の目的: 抽象化/一般化(汎化)することで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論点が整理され、</li> <li>・誤解が減り、</li> <li>・議論が進み、</li> <li>・理解が深まる</li> </ul> <p>⇒ 新規性と有用性が高い研究結果に結びつく</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><b>効果</b> 人種、文化、環境に関係なく議論ができる</p> </div>	<p><b>モデル化の例①</b></p> 
<p><b>モデル化②</b></p> 	<p><b>2.動画撮影&amp;制作ワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的</li> <li>・どんなテーマ</li> <li>・どんな内容</li> </ul> <p>・ディスカッションしてお互いに撮影し合おう!</p>

### 担当（リーダー）

市長表敬挨拶

1日目  
3日目  
4日目  
5日目  
6日目

11

### 担当（リーダー） 決め、出し物決め

内容は自由

- ・ラジオ体操？



12

### 日程表

1 実施期間 2024年8月1日（木）～10日（土）（9日10日）  
2 派遣先 ドイツ連邦共和国ハイデルベルク市  
3 派遣人数 18名（専任教員14名+教職員4名）

日程表

日付	都市名	時間	交通機関	行程	食事	旅行先
1	B1 (木)	17:30		熊本空港集合、搭乗手続き		
		18:35 CI 195		チャイナエアライン（中華航空）にて台湾桃園国際空港へ		
		19:50		台湾桃園国際空港到着		
		22:50 CI 061		【夜の練習】チャイナエアラインにてフランクフルト空港へ	夕：機	機内駐
				飛行時間 約14時間00分		

13

### 事後研修会

- ・日時 2024年8月24日（土）13:00～16:00
- ・会場 熊本市中央公民館
- ・携行品 筆記用具
- ・活動内容
  - ・報告書（論文）作成講座
  - ・発表会準備



14



いろんな雑貨をドイツ語や英語で説明



熊本大学宮本さんから  
国際ボランティアについて学ぶ



パートナーとの再会に向けて  
メッセージ動画を撮影



荻野蔵平熊本大学名誉教授に対して  
学習教材提供のお礼を申し上げます！



←メッセージ動画はこちらから

事後研修資料（2024/08/24 @熊本市立中央公民館）

<p>令和6年度（2024年度） 熊本市・ハイデルベルク市青少年交流事業（派遣） 事後ミーティング</p> <p>熊本市教育委員会 地域教育推進課 一般社団法人SCBラボ 2024/8/24</p>	<p>日程</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 団員報告書作成講座（120分）<ul style="list-style-type: none"><li>・講師 内藤豊（SCBラボ／崇城大学助教）</li></ul></li><li>2. 今後の活動（30分）<ul style="list-style-type: none"><li>・講師 内藤豊</li></ul></li></ol>
<p>団員報告書作成講座</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. レジユメに就いて学習</li><li>2. 白紙に就いてアイデア構想</li><li>3. パソコンで清書</li><li>4. 第1回提出日：9月15日（日）</li><li>5. オンラインやLINEで内藤からコメント</li><li>6. 最終提出日：9月29日（日）</li></ol>	<p>今後の活動～団員報告書発表会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・グローバル人材育成イベント（団員報告書発表会）and More</li><li>・日時 2024年10月20日（土） or 26日（土） or 27日（日） 13:00～16:00</li><li>・会場 蔦屋書店熊本三年坂地下イベントスペース</li></ul> 
<p>今後の活動～コンテストへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・SDGsみらい甲子園2024熊本大会 <a href="https://sdgs.ac/about/entry2024">https://sdgs.ac/about/entry2024</a>（12月締切）</li><li>・アイデアで社会をより良くするコンテスト <a href="http://www.oac.or.jp/idea_contest_11th/work.html">http://www.oac.or.jp/idea_contest_11th/work.html</a>（1月締切）</li></ul> 	

# 団員報告書作成講座

2024年8月24日  
一般社団法人 SCB ラボ 内藤

## 1. 目的

論理的で、わかりやすく、熱意みなぎる団員報告書を作成することで下記の効果をもたらすため

社会に向けて：熊本市青少年交流団員として世の中の役立つ情報を発信

後進に向けて：次代の高校生団員にとっての道標であり達成すべき基準となるため

自分のために：大学進学や就活時の面接や推薦書作成の際に「高校時代に頑張ったこと」として使用するため

## 2. どんな団員報告書を書くのか？

- (1) 新規性： 今までにない視点で物事を捉えて報告 ※ユニーク/オンリーワン
- (2) 有用性： 世の中の役に立つ考え方や事実を報告
- (3) 客観性： データを用いることでより客観性が増し、読者の納得感や理解を促進
- (4) 信頼性： (できるだけ) 国や研究機関など権威のある団体が発表した信頼性の高い理論やデータを用いる。さらに、出典を示すことで、あなた(報告者)の考えの信頼性を向上。

※大学や研究機関による論文や行政による報告書 > 個人のブログ

あなたの団員報告書を世界に向けて発信～団員報告書=世界中の人に見てもらえる。  
(教育委員会公式出版物、ウェブに掲載)

## 3. 文章(報告書)を書く時の手順

(1) テーマや分野について決定

- ・SDGs(環境/ジェンダー/富や機会の偏在/人口減少/経済衰退/医療など)
- ・趣味(音楽/アニメ/マンガ/スポーツなど)
- ・人材育成や教育(語学/教育制度/国際交流体験/未来人材となるために)
  - ・比較文化論(人間:パートナーやホストファミリー、外国人/文化:街並み、文化など)

(2) 書きたいことのパーツを箇条書き→並べる

- ① 論文の目的
  - ② 背景(世の中の流れ/なぜこのテーマが重要か/先行事例/従来手法)
  - ③ 問題提起(ここが問題/気になる/解決したい)
  - ④ 仮説構築(こうなるのでは?/こうなるはず)
  - ⑤ 検証(実験による/観察による/理論による)・考察
- ※テクニック: 考察を最初に考える(もっとも重要な部分です)

※昨年同様 WHAT-WHY-HOW-EFFECT フレームワークでも OK

- ① WHAT(目的/理念/結論/もっとも言いたいこと)
- ② WHY(背景/世の中の動向/先行事例/従来手法/問題点の指摘)
- ③ HOW(提案手法/具体的な方策)
- ④ EFFECT(考察/評価/効果/将来の変化)

**チャレンジ** 特別なパーツをひとつ作ろう・・・論理モデルを作って加えよう。  
文字や言葉に比べて、図はより厳密に明確に伝えることができるよ！



### (3) 書きはじめる

~~~~~

報告書作成例： グローバル人材育成に向けた国際交流プログラムの構築

#### What（何を）：

グローバル人材育成に向けて、つながりを有効活用した熊本市独自の高校生国際交流プログラムを構築

#### Why（背景・問題等）：

- ・国際交流の現状と効果

文部科学省は、グローバル人材とは単に外国語を話し諸外国の人々とコミュニケーションを取る能力を有するだけでなく、競争と共生を通して、これまでにない新しい価値の創造、すなわちイノベーションを創発する能力を備えた人材であると定義している[1]。熊本市も、2024年6月に発表した第2期熊本市国際戦略のなかで、グローバルな人材育成の重要性に言及しており、国際交流体験を通じてグローバルにイノベーションを創発できる若者の育成に注力していくこととしている[2]。

ここで問題になるのは、グローバルに活躍しイノベーションを創発できる若者を育成するための手法が確立されていないことである。

#### How（提案手法）

そこで、我々は熊本市教育委員会とともに地域にふんだんに存在する地域資源のつながりからイノベーションを創発するための理論である地域コミュニティブランド（SCB）を用いることにより、グローバル人材育成を目的とする熊本市グローバル人材育成プラットフォームを構築することを提案する。

このプラットフォームは、行政や企業など信用ある主体が、日本の将来を担う若者の育成に向けて自律的につながることによって実現される。地域企業等が自律的にプラットフォームに参加することで行政のみで人材育成を進める場合と比べてプラットフォームの運営コストが低減される（図1）。

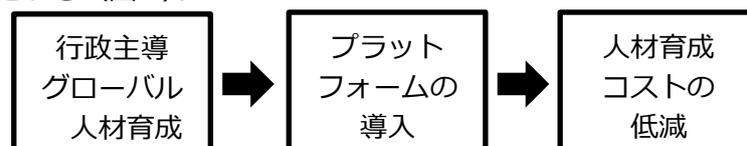


図1 プラットフォーム導入の効果

Effect (効果)

SCB 理論を用いて企業など地域資源の自律的なつながりによってプラットフォームを構築したことで、予算や従事する人員の削減に加えて、企業と行政、若者が連携することによる教育効果が〇〇や〇〇の点で確認できた。

[1]文部科学省, 産学連携によるグローバル人材育成推進会議, 産学官によるグローバル人材の育成のための戦略, 2011.

[2]熊本市, 第 2 期熊本市国際戦略, 2024.

## 付録 3 熊本市青少年交流団員アンケート（抜粋）

調査者 熊本市青少年交流団指導員 中野 友加里 熊本市立必由館高等学校

通訳 ヴォーニヒ マリア(WOHNIG, MARIA) 熊本市国際課

問 印象に残った事、場所について思いつく限り記入してください。

回答を(1)人柄、(2)生活様式や街並み、(3)活動、(4)言語の分類で示す。

### (1)人柄

- ・ドイツ側の人たちはみんなそれぞれ自分の意見や考えを持っていて、議論もよくしていてすごいと思った。
- ・人々のフットワークの軽さです。
- ・国にとらわれず興味を持って接してくれること。
- ・ホストファミリーと過ごした日々が1番印象に残っています。
- ・ホストファミリー、パートナーが日本について文化について興味をもってたくさん質問してくれたこと。
- ・ホストファミリーの日は少し早めの時間に帰ってきて、チーズケーキを作りました。去年の夏の交流でパートナーとよくお菓子作りをするという話をされていて、来年ドイツに来る時は一緒にお菓子作りしたいねと話していたので一緒に作れて幸せでした。

### (2)生活様式や街並み

- ・身近なところに歴史や宗教を感じられるものがたくさんあって日々勉強だった。
- ・自然や町並みがとても綺麗で心身ともに癒やされた。
- ・旧市街です。まるで本の中の世界みたいだと感じました。また、山が多いということもあり周囲にはたくさんのお木々が並んでいて素敵な景色でした。夜になるとハイデルベルク城がライトアップされていて綺麗な景色を見ることができました。
- ・マーケットと近所のスーパーが印象に残っています。
- ・ホストファミリーで行った伝統的なドイツ料理屋さん、クレッターパーク、ハイデルベルク城などが印象に残りました。
- ・植生、湿度、建物、建築様式の違いなどが印象的だった。
- ・フランスのストラスブールです。

### (3)活動

- ・木の上のアスレチックで、ドイツ人日本人関係なく助け合ってクリアしていくことがとても楽しかった。
- ・お城巡りで大きい庭園に行ったことやミニゴルフでみんなと対決して凄く楽しかった。
- ・船上パーティーが楽しかったです。

### (4)言語

- ・ハイデルベルク全て。英語で話すことが楽しいと感じた。
- ・同じ年齢層の人たちだったのに自分たちよりも遥かに英語力があることに驚いた。

団員デザインによる交流事業ロゴマーク



Y. O. デザイン

上) K. Y.

下) N. N. デザイン



熊本市教育委員会 地域教育推進課

(受託者 一般社団法人 SCB ラボ)